自然浴家族 ジーマ
デッキ編（ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト） 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●自然浴家族 ジーマ本体の施工は「自然浴家族 ジーマ本体編 ― 取付説明書（E273）」で施工してください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●本製品は、一般住宅のの地上階設置用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
●基礎石は現場で手配してください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
●施工手順は、下記の「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

施　工　手　順	使用する取付説明書	取説コード
ウッドデッキの施工	自然浴家族 ジーマ ― デッキ編（ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト）―	E272
本体、レールの施工	自然浴家族 ジーマ　本体編	E273
内面デッキの施工	自然浴家族 ジーマ ― デッキ編（ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト）―	E272

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●部材の切断時に切り粉を吸い込まないように注意してください。

●防腐処理剤の塗装時には、必ず換気をしてください。

●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。

●取付説明書の順序通りに組みつけてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

●木材の腐食や変形の原因になりますので、木材表面に故意にキズをつけないように注意してください。

●モルタル・鉄粉は木材の変色の原因になりますので、付着した場合は速やかに取り除いてください。

●床板の固定には、インパクトドライバーをご使用ください。手回し、またはトルクが小さい電動工具の場合は、ネジが十分入らない場合があります。

●イペセレクトの場合、床板の固定には必ず床板にφ6の下穴を開けてください。ネジが十分入らないことがあります。

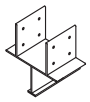
●製品の改造は絶対にしないでください。

●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

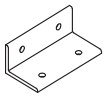
●木材の腐食の原因になりますので、木材断面に木材保護塗料を塗布してください。

■梱包明細表

【1】WD束柱受金具セット

名　称	略　図	員数
束柱受け金具		6
【1-1】φ4.1×32丸木ネジ		54

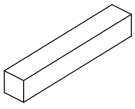
【2】WD根太受け金具セット

名　称	略　図	員数
根太受け金具		6
【2-1】φ4.1×32丸木ネジ		30

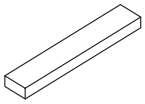
【3】WD大引受け金具

名　称	略　図	員数
大引受け金具		6
【3-1】φ4.1×32丸木ネジ		78
【3-2】S6フィッシャープラグ		30

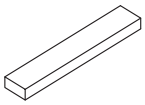
【4】WD束柱セット

名　称	略　図	員数
束柱		5

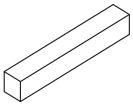
【5】WD根太セット3

名　称	略　図	員数
根太3		2

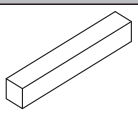
【6】WD根太セット4

名　称	略　図	員数
根太4		4

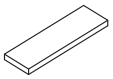
【7】WD大引セット5

名　称	略　図	員数
大引5		1

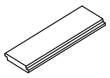
【8】WD大引セット6

名　称	略　図	員数
大引6		1

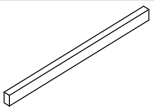
【9】デッキセット

名　称	略　図	員数	
		ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト
デッキ		3	2

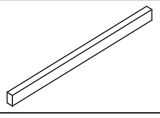
【10】内面デッキセット

名　称	略　図	員数	
		ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト
内面デッキ		3	2

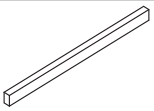
【11】EX面デッキ根太セット1

名　称	略　図	員数
EX面デッキ根太1		3

【12】EX面デッキ根太セット3

名　称	略　図	員数
EX面デッキ根太3		3

【13】EX面デッキ根太セット4

名　称	略　図	員数
EX面デッキ根太セット4		1

【14】ステンレススクリュー釘 1500本入

名　称	略　図	員数
【14-1】ステンレススクリュー釘 L=75		1500

【15】ステンレススクリュー釘 350本入

名　称	略　図	員数
【15-1】ステンレススクリュー釘 L=75		350

【16】ネジセット コーススレッド

名　称	略　図	員数
【16-1】φ4.8×65 コーススレッド		350

【17】イペセレクトデッキ用ネジ

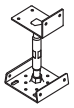
名　称	略　図	員数
【17-1】φ4.8×65フレキコーススレッド		350

■梱包明細表（つづき）

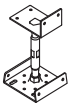
【18】補修塗料 0.7Ｌ缶

名　称	略　図	員 数
補修塗料		1

【19】WD束調整金具　オプション

名　称	略　図	員 数
束調整金具		1
【19-1】φ4.1×32丸木ネジ		2

【20】WD束調整金具 振れ止め付　オプション

名　称	略　図	員 数
束調整金具		1
振れ止め板		2
【20-1】φ4.1×32丸木ネジ		2
【20-2】φ4×12トラスネジ3種		6

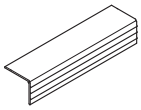
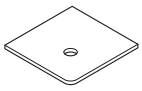
【21】接着剤

名　称	略　図	員 数
接着剤		1

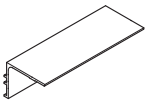
【22】プライマー

名　称	略　図	員 数
プライマー		1

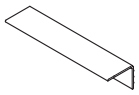
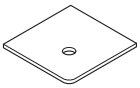
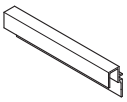
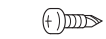
【23】デッキ見切り材（前面）セット

名　称	略　図	員　数	
		1.5間	2.0間
デッキ見切り材		1	1
コーナー部品		2	2
【23-1】φ4×12 サラタッピンネジ1種　D=6		20	23

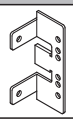
【24】デッキ受け材セット

名　称	略　図	員　数	
		1.5間	2.0間
デッキ受け材		1	1
【24-1】φ4×16ナベドリルネジ		18	20

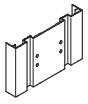
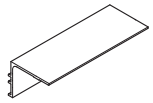
【25】デッキ見切り材（側面）セット

名　称	略　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
デッキ見切り材		2	2	2
コーナー部品		4	4	4
ベース材外スペーサー		1	1	1
【25-1】φ4×12 サラタッピンネジ1種　D=6		30	34	38
【25-2】φ4×16 ナベドリルネジ		8	10	12

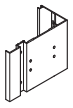
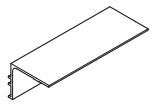
【26】大引き・ベース材取付金具セット

名　称	略　図	員　数	
		1セット	3セット
大引・ベース材取付金具		2	6
【26-1】φ4×16 ナベドリルネジ　D=8.2		9	25

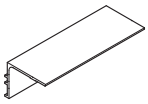
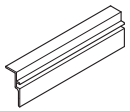
【27】デッキ納め柱部品セット

名　称	略　図	員数
デッキ受け材取付部品		1
デッキ受け材（デッキ納め柱部品）		2
【27-1】φ4×19サラドリルネジ　D=6		4
【27-2】φ4×16ナベドリルネジ　D=8.2		4

【28】デッキ納め柱部品セット（3尺延長柱用）

名　称	略　図	員数
デッキ受け材取付部品（3尺延長柱用）		1
デッキ受け材（デッキ納め柱部品）		2
【28-1】φ4×19サラドリルネジ　D=6		2
【28-2】φ4×16ナベドリルネジ　D=8.2		4

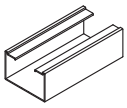
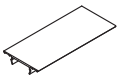
【29】外デッキ受け材セット

名　　称	略　　図	員　数	
		1.5間	2.0間
デッキ受け材		1	1
ジーマ前面見切り材		1	1
【29-1】φ4×16ナベドリルネジ		32	36

【30】デッキ受け材用ネジセット

名　　称	略　　図	員　数	
		基本	追加
【30-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ		120	60

【31】連棟・入隅用スペーサーセット

名　　称	略　　図	員 数
連棟・入隅用スペーサー		1
連棟・入隅用スペーサーフタ		1
【31-1】φ4.1×32丸木ネジ		2
【31-2】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		2
【31-3】S6フィッシャープラグ		2

INDEX

1　基本寸法…… 7
　1．内面立上げ仕様の場合…… 7
　2．フラットデッキ仕様の場合…… 15
2　作業を行う前に…… 23
　1．水盛遣方・水糸張り…… 23
　2．基礎石配置…… 23
3　基礎の施工…… 24
　1．基礎施工１＿束柱仕様…… 24
　2．基礎施工２＿大引仕様…… 26
4　フラットデッキ仕様の施工…… 29
　1．デッキの施工…… 29
　2．本体の施工…… 31
5　内面立上げ仕様の施工…… 32
　1．内面デッキの施工…… 32
　2．外面デッキの施工…… 38
　3．幕板の取付け…… 48

1　基本寸法

1. 内面立上げ仕様の場合

1-1　基本仕様の場合

（1）基本納まり（6尺、8）尺の場合

※図は束柱仕様を示します。

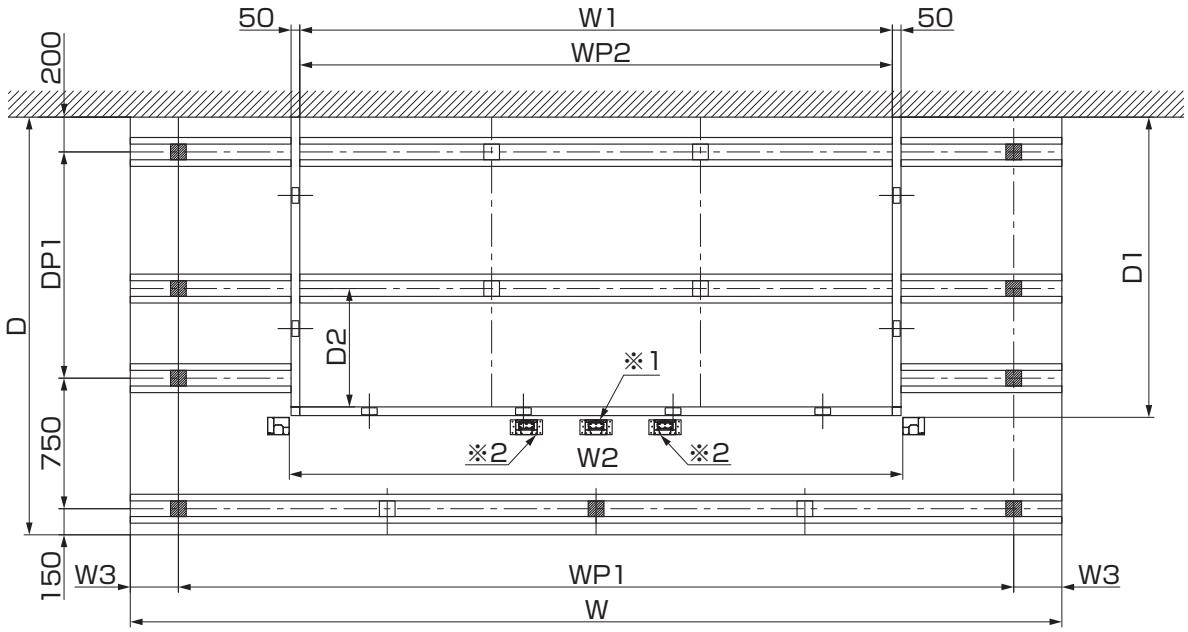


図1-1　基礎伏図

表1-1　間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1（ピッチ）	WP2（ピッチ）
1.5間	4507	2495	2615	153.5	4：正面左側から 1050、1050、1050、1050	3：正面左側から 722.5、1050、722.5
2.0間	5353	3405	3525	276.5	4：正面左側から 1200、1200、1200、1200	3：正面左側から 1102.5、1200、1102.5
2.5間	6340	4315	4435	220	5：正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150	5：正面左側から 850、850、915、850、850
3.0間	7186	5225	5345	193	6：正面左側から 1000、1200、1200、1200、1200、1000	6：正面左側から 870、870、872.5、872.5、870、870

表1-2　出幅寸法

	D	D1	D2	DP1（ピッチ）
6尺	2400	1725	680	2：躯体側から785、515
8尺	2900	2325	740	3：躯体側から725、600、475

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

1.（つづき）

1-1 つづき　※（　）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

（1）つづき

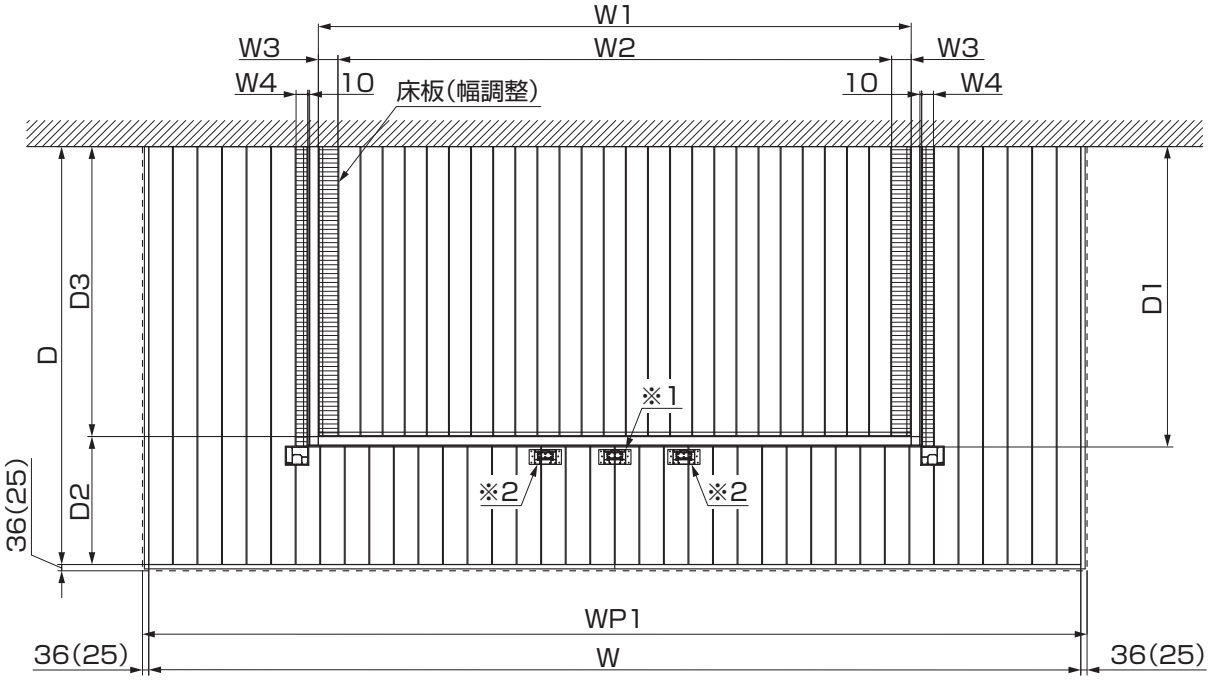


図1-2　デッキ割付け図

表1-3　間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	WP1（ピッチ）
1.5間	4507	2495	2291	102	100	3：正面左側から1239.5（1228.5）、2100、1239.5（1228.5）
2.0間	5353	3405	3180	112.5	68	2：正面左側から2712.5（2701.5）、2712.5（2701.5）
2.5間	6340	4315	4196	59.5	106.5	3：正面左側から1856（1845）、2700、1856（1845）
3.0間	7186	5225	5085	70	74.5	3；正面左側から2179（2168）、2900、2179（2168）

表1-4　出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- 外面デッキ前面の柱内々の床板は、6尺はL＝2900、8尺はL＝2700から切り出してください。

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり (6尺+3尺・8尺+3尺) の場合

※図は束柱仕様を示します。

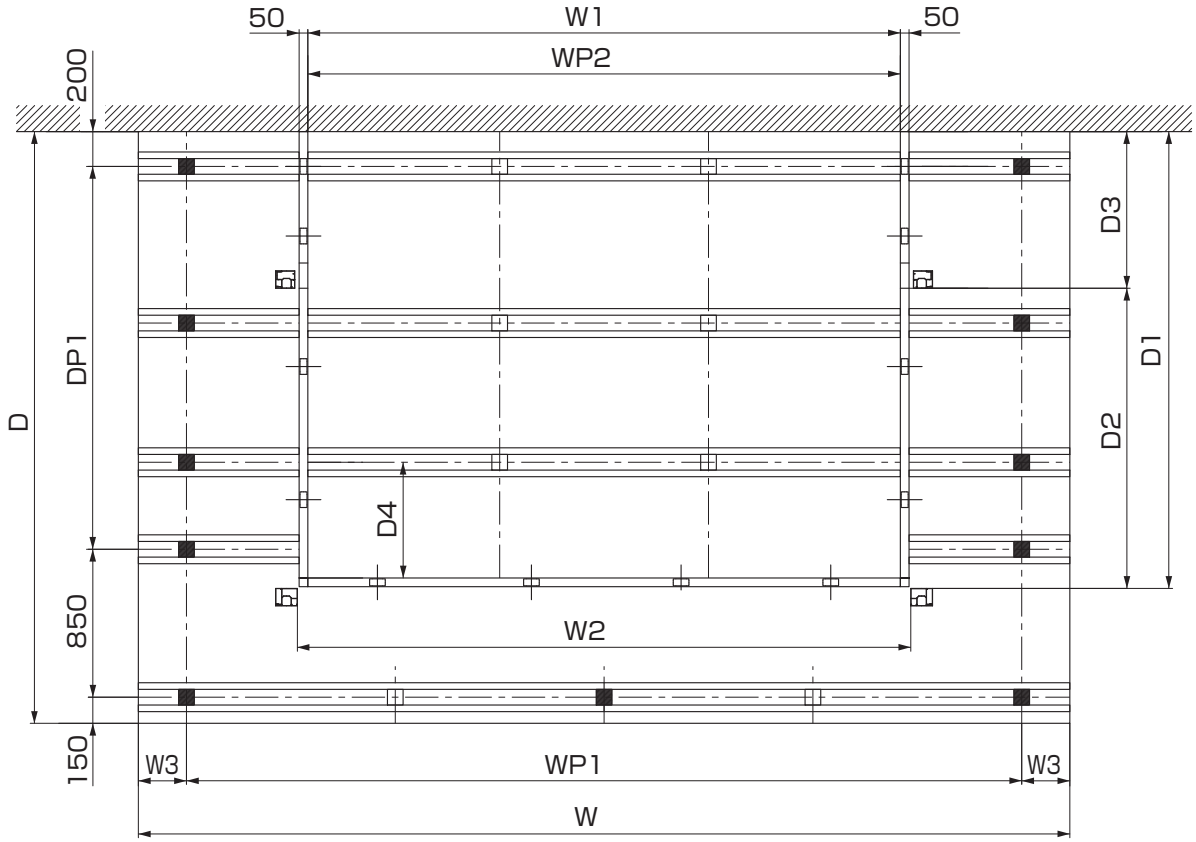


図1-3　基礎伏図

表 1-5　間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.5間	4507	2495	2615	153.5	4 : 正面左側から 1050、1050、1050、1050	3 : 正面左側から 722.5、1050、722.5
2.0間	5353	3405	3525	276.5	4 : 正面左側から 1200、1200、1200、1200	3 : 正面左側から 1102.5、1200、1102.5
2.5間	6340	4315	4435	220	5 : 正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150	5 : 正面左側から 850、850、915、850、850

表 1-6　出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4	DP1 (ピッチ)
6尺+3尺(バルコニー下)	3400	2625	1725	900	665	3 : 躯体側から 900、800、500
8尺+3尺(バルコニー下)	4000	3225	2325	900	665	4 : 躯体側から 900、700、700、500
6尺+3尺(バルコニー前)※	3700	2925	1725	1200	665	4 : 躯体側から 700、650、650、500
8尺+3尺(バルコニー前)※	4300	3525	2325	1200	765	4 : 躯体側から 700、900、900、600

※バルコニー前仕様のD3寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- ●束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

1.（つづき）

1-1 つづき　※（　）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

(2) つづき

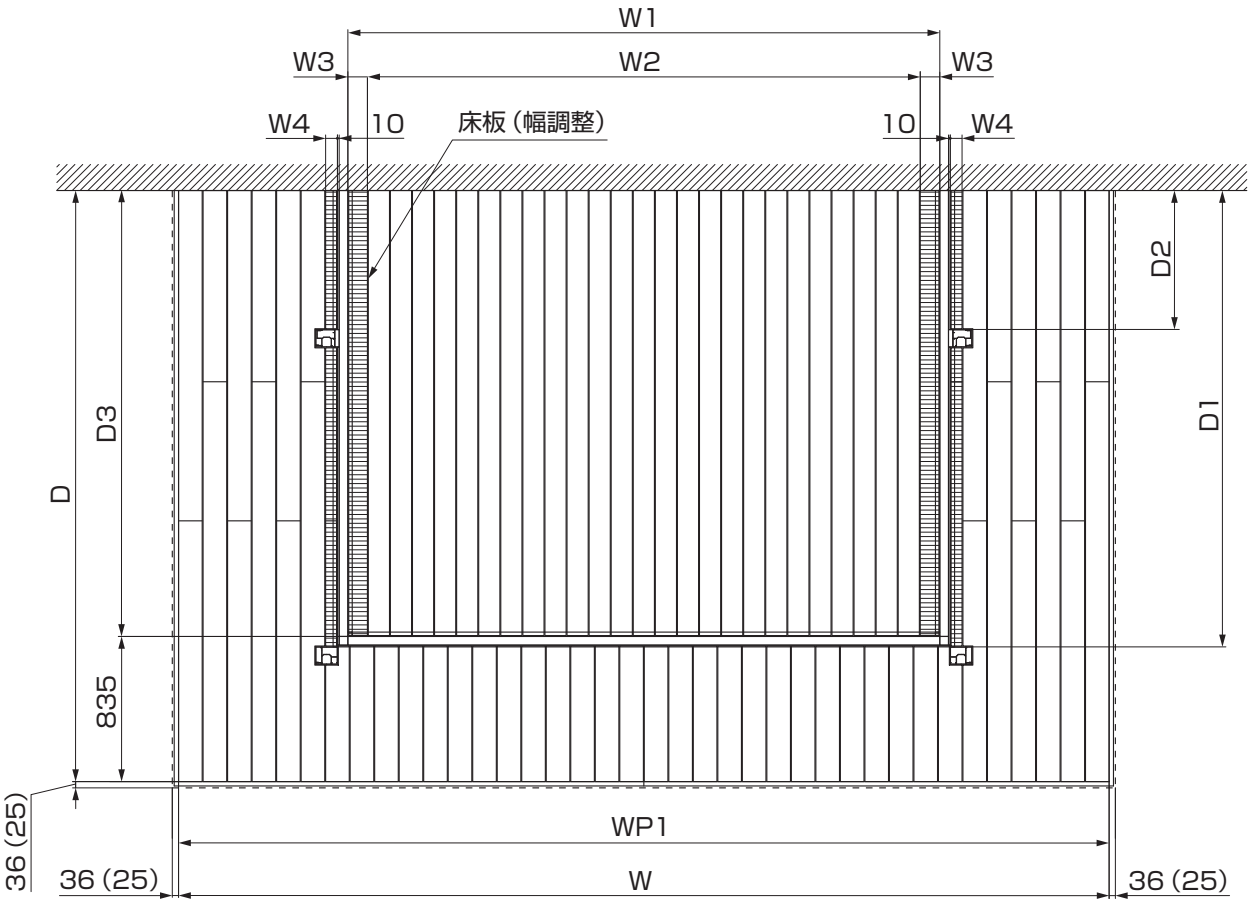


図1-4　デッキ割付け図

表1-7　間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	WP1（ピッチ）
1.5間	4507	2495	2291	102	100	3：正面左側から1239.5（1228.5）、2100、1239.5（1228.5）
2.0間	5353	3405	3180	112.5	68	2：正面左側から2712.5（2701.5）、2712.5（2701.5）
2.5間	6340	4315	4196	59.5	106.5	3：正面左側から1856（1845）、2700、1856（1845）

表1-8　出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺+3尺（バルコニー下）	3400	2625	800	2565
8尺+3尺（バルコニー下）	4000	3225	800	3165
6尺+3尺（バルコニー前）※	3700	2925	1100	2865
8尺+3尺（バルコニー前）※	4300	3525	1100	3465

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1100mmです。

ポイント

- ●外面デッキ前面の柱内々の床板は、L＝2700から切り出してください。
- ●8尺＋3尺（バルコニー下）、6尺＋3尺・8尺＋3尺（バルコニー前）の内面デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。
- ●外デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。

1-2 入隅仕様の場合

※図は右入隅の場合を示します。
※図は束柱仕様を示します。

（1）基本納まり（6尺、8尺）の場合

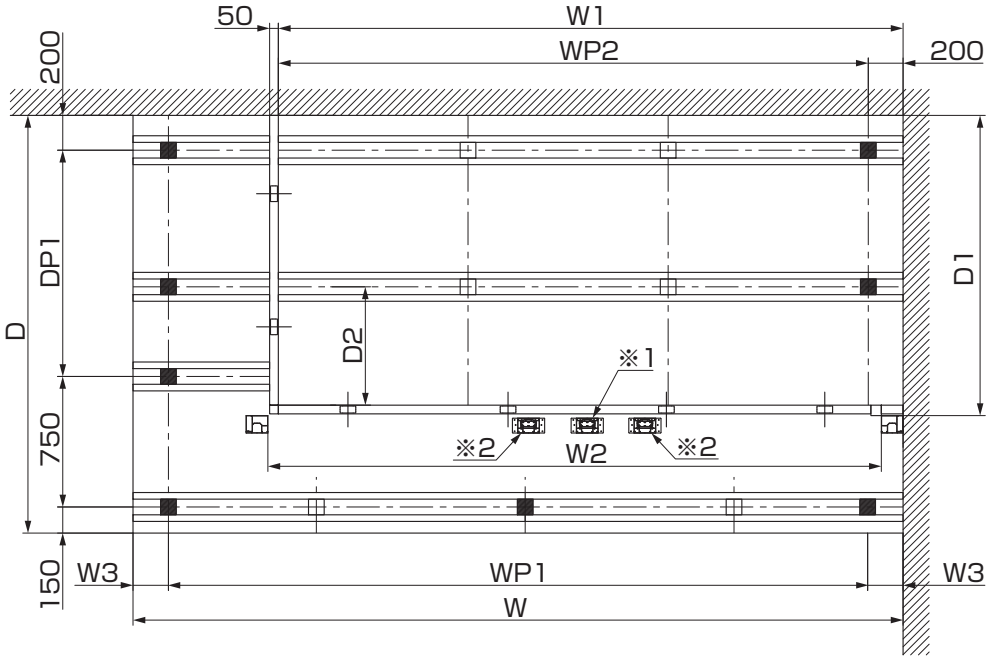


図1-5　基礎伏図

表1-9　間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1（ピッチ）	WP2（ピッチ）
1.5間	3509	2680	2615	130.5	3：正面左側から 1100、1200、948	3：正面左側から 830、825、825
2.0間	4425	3590	3525	203.5	4：正面左側から 850、1200、1200、768	3：正面左側から 1090、1150、1150
2.5間	5456	4500	4435	247	5：正面左側から 700、1200、1200、1200、662	4：正面左側から 1000、1100、1100、1100
3.0間	6275	5410	5345	220	5：正面左側から 1150、1200、1200、1200、1085	5：正面左側から 1010、1050、1050、1050、1050

表1-10　出幅寸法

	D	D1	D2	DP1（ピッチ）
6尺	2400	1725	680	2：躯体側から785、515
8尺	2900	2325	740	3：躯体側から725、600、475

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

1.（つづき）

1-2 つづき　※（　）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

（1）つづき

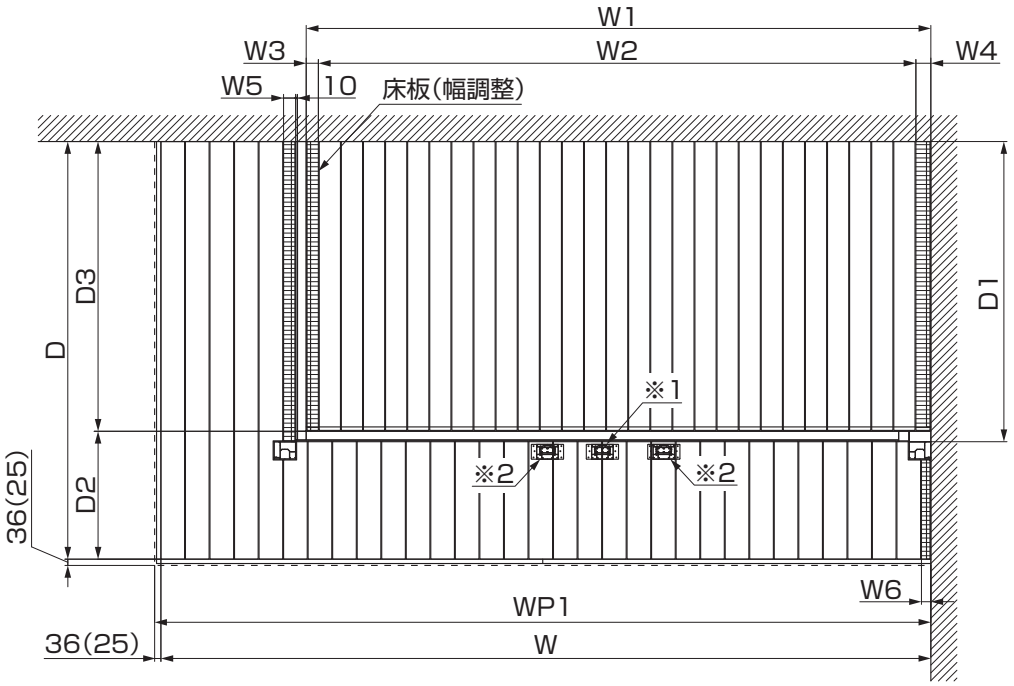


図1-6　デッキ割付け図

表1-11　間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6	WP1（ピッチ）
1.5間	3509	2680	2545	74	61	64	125	2：正面左側から1772.5（1767）、1772.5（1767）
2.0間	4425	3590	3434	70	86	70	54	2：正面左側から2230.5（2225）、2230.5（2225）
2.5間	5456	4500	4323	80	97	50	98	2：正面左側から2746（2740.5）、2746（2740.5）
3.0間	6275	5410	5212	100	98	100	71	3：正面左側から1705.5（1700）、2900、1705.5（1700）

表1-12　出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- 外面デッキ前面の柱内々の床板は、6尺はL＝2900、8尺はL＝2700から切り出してください。

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり (6尺+3尺、8尺+3尺) の場合

※図は右入隅の場合を示します。
※図は束柱仕様を示します。

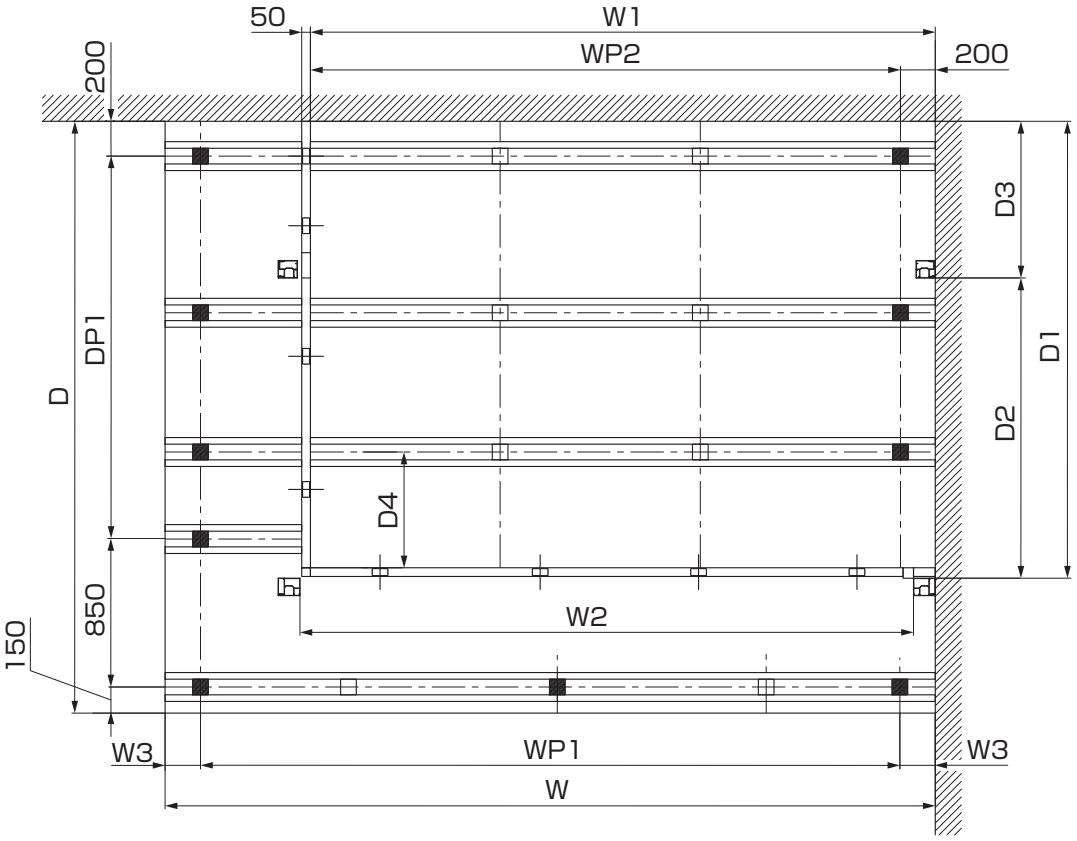


図1-7　基礎伏図

表 1-13　間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.5 間	3509	2680	2615	130.5	3 : 正面左側から 1100、1200、948	3 : 正面左側から 830、825、825
2.0 間	4425	3590	3525	203.5	4 : 正面左側から 850、1200、1200、768	3 : 正面左側から 1090、1150、1150
2.5 間	5456	4500	4435	247	5 : 正面左側から 700、1200、1200、1200、662	4 : 正面左側から 1000、1100、1100、1100

表 1-14　出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4	DP1 (ピッチ)
6尺+3尺 (バルコニー下)	3400	2625	1725	900	665	3 : 躯体側から 900、800、500
8尺+3尺 (バルコニー下)	4000	3225	2325	900	665	4 : 躯体側から 900、700、700、500
6尺+3尺 (バルコニー前)※	3700	2925	1725	1200	665	4 : 躯体側から 700、650、650、500
8尺+3尺 (バルコニー前)※	4300	3525	2325	1200	765	4 : 躯体側から 700、900、900、600

※バルコニー前仕様の D3 寸法は MAX1200mm です。

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

1.（つづき）

1-2 つづき　※（　）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

(2) つづき

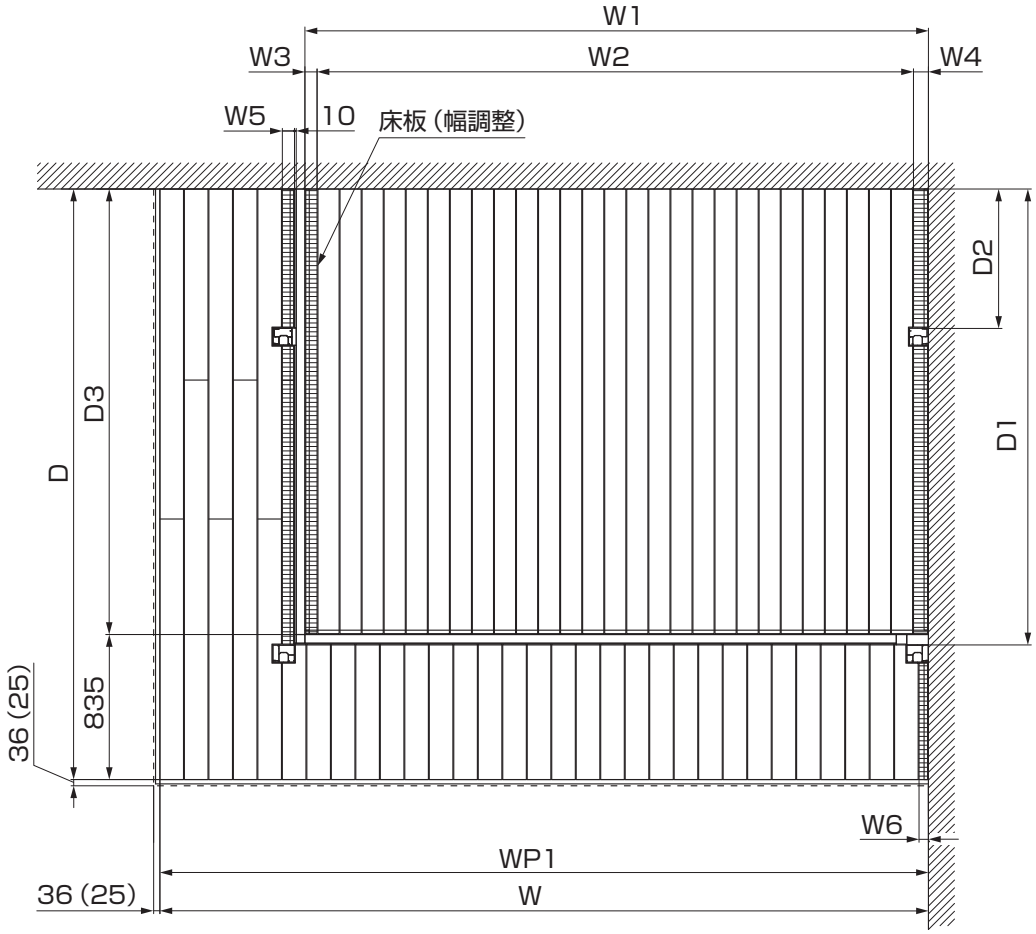


図1-8　デッキ割付け図

表1-15　間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6	WP1（ピッチ）
1.5間	3509	2680	2545	74	61	64	125	2：正面左側から1772.5（1767）、1772.5（1767）
2.0間	4425	3590	3434	70	86	70	54	2：正面左側から2230.5（2225）、2230.5（2225）
2.5間	5456	4500	4323	80	97	50	98	2：正面左側から2746（2740.5）、2746（2740.5）

表1-16　出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺+3尺（バルコニー下）	3400	2625	800	2565
8尺+3尺（バルコニー下）	4000	3225	800	3165
6尺+3尺（バルコニー前）※	3700	2925	1100	2865
8尺+3尺（バルコニー前）※	4300	3525	1100	3465

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1100mmです。

ポイント

- ●外面デッキ前面の柱内々の床板は、L＝2700から切り出してください。
- ●8尺＋3尺（バルコニー下）、6尺＋3尺・8尺＋3尺（バルコニー前）の内面デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。
- ●外デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。

2. フラットデッキ仕様の場合

2-1 基本仕様の場合

（1）基本納まり（6尺、8尺）の場合

※図は束柱仕様の場合を示します。

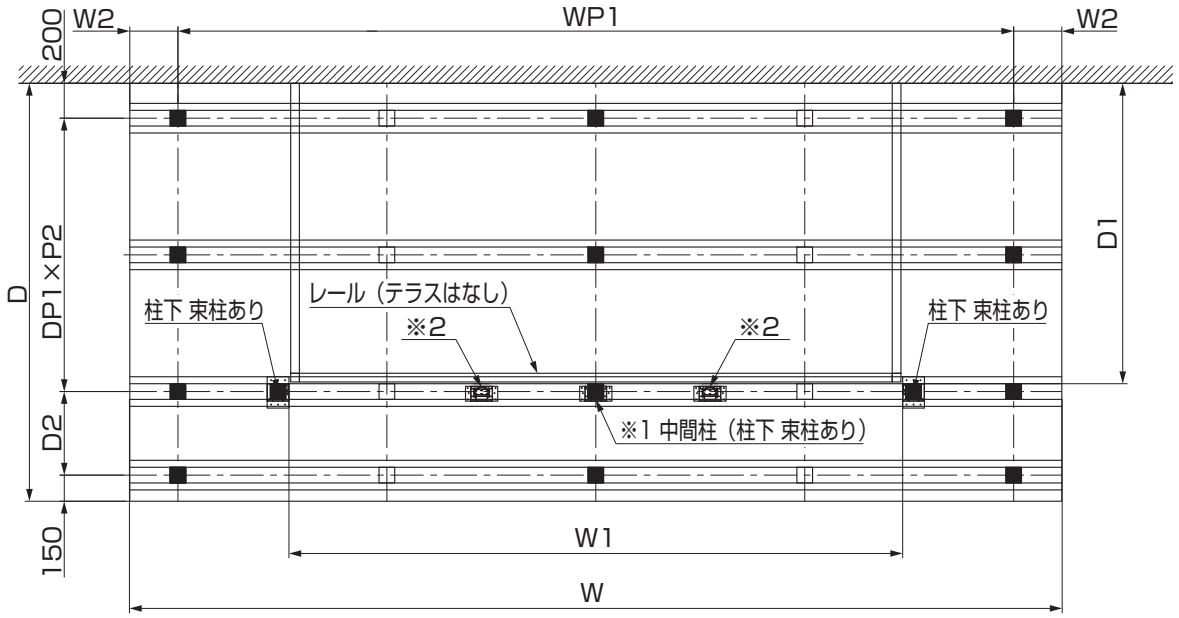


図2-1　基礎伏図

表 2-1　間口寸法

	W	W1	W2	WP1（ピッチ）
1.5 間	4507	2615	153.5	4：正面左側から 1050、1050、1050、1050
2.0 間	5353	3525	276.5	4：正面左側から 1200、1200、1200、1200
2.5 間	6340	4435	220	5：正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150
3.0 間	7186	5345	193	6：正面左側から 1000、1200、1200、1200、1200、1000

表2-2　出幅寸法

	D	D1	D2	DP1（ピッチ）	P2
6 尺	2400	1725	480	2	785
8 尺	2900	2325	375	3	725

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太つなぎ目には根太受け金具を使用してください。
- ※1 標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には、中間柱を設置します。
- ※2 積雪地仕様の2.5間の場合のみ、ジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- 主柱の下には、束柱を配置します。また連棟やエクシオールプラスの場合には、連棟柱・エクシオールプラス柱の下に束柱を別途追加してください。

2.（つづき）

2-1 つづき

（1）つづき

※（ ）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

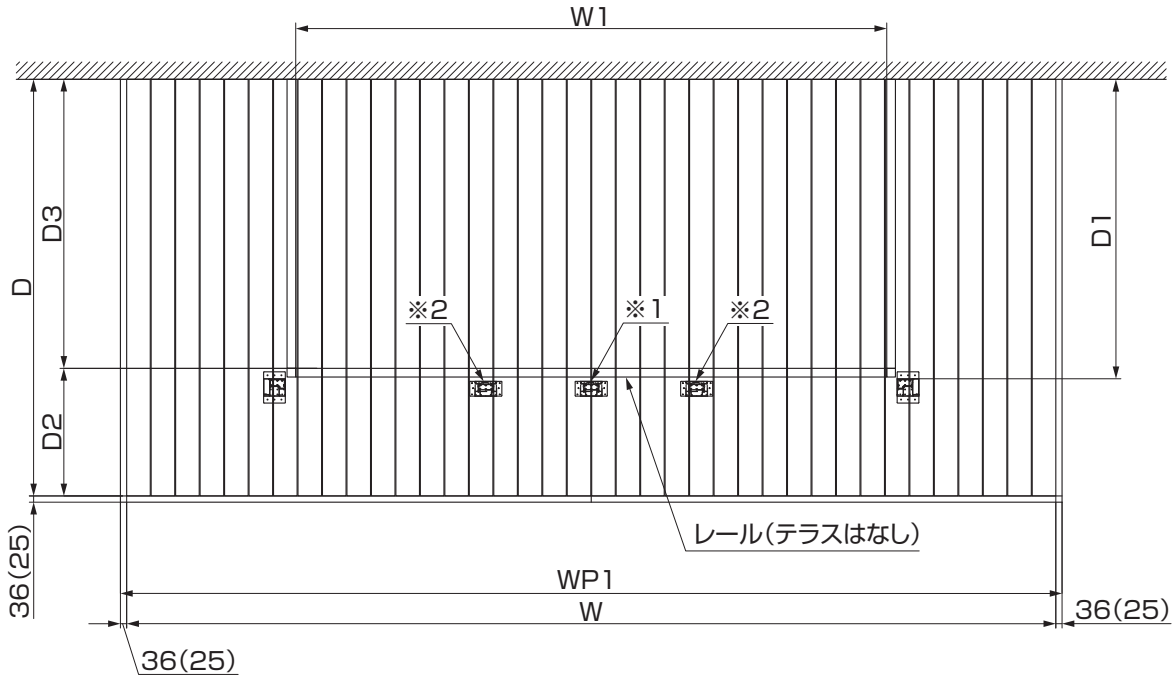


図2-2　デッキ割付け図

表2-3　間口寸法

	W	W1	WP1（ピッチ）
1.5間	4507	2495	3：正面左側から1239.5（1228.5）、2100、1239.5（1228.5）
2.0間	5353	3405	2：正面左側から2712.5（2701.5）、2712.5（2701.5）
2.5間	6340	4315	3：正面左側から1856（1845）、2700、1856（1845）
3.0間	7186	5225	3：正面左側から2179（2168）、2900、2179（2168）

表2-4　出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり（6尺+3尺、8尺+3尺）の場合

※図は束柱仕様を示します。

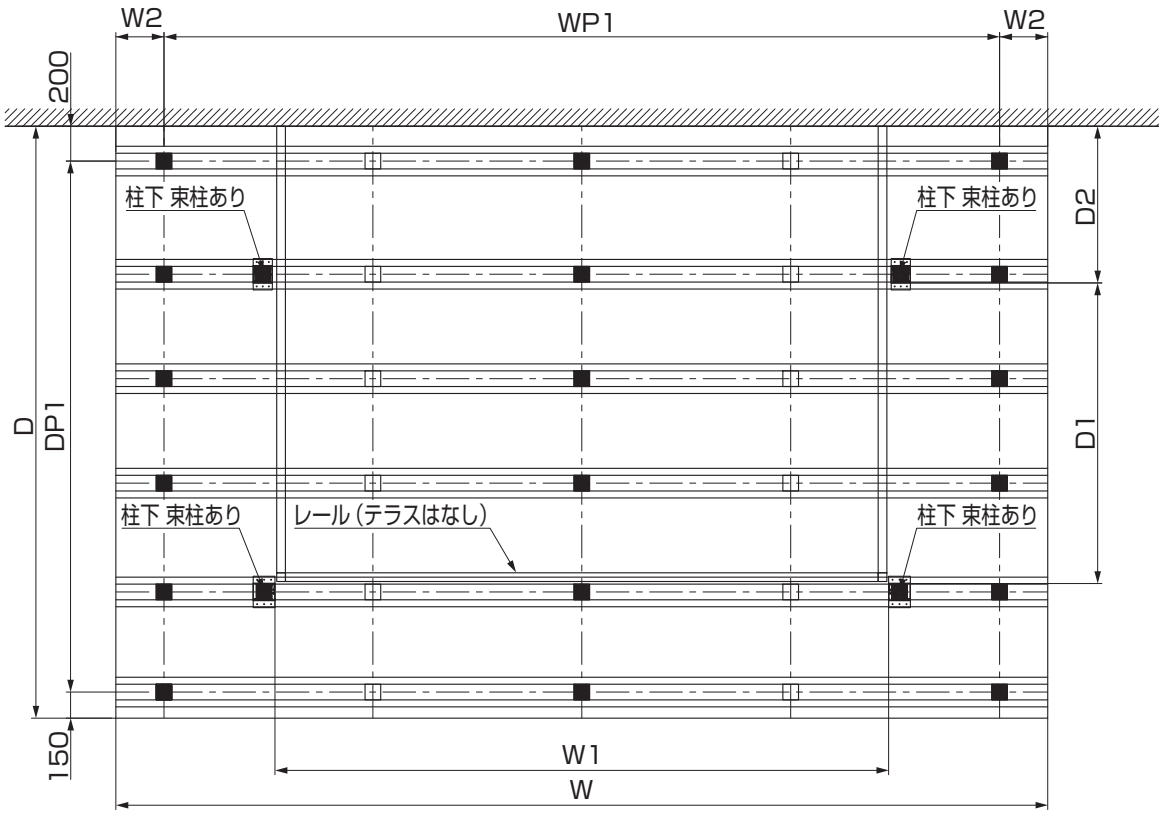


図2-3　基礎伏図

表 2-5　間口寸法

	W	W1	W2	WP1（ピッチ）
1.5 間	4507	2615	153.5	4：正面左側から 1050、1050、1050、1050
2.0 間	5353	3525	276.5	4：正面左側から 1200、1200、1200、1200
2.5 間	6340	4435	220	5：正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150

表2-6　出幅寸法

	D	D1	D2	DP1（ピッチ）
6尺+3尺（バルコニー下）	3400	1725	900	5：躯体側から 650、600、600、625、575
8尺+3尺（バルコニー下）	4200	2325	900	5：躯体側から 650、900、900、625、775
6尺+3尺（バルコニー前）※	3700	1725	1200	5：躯体側から 900、700、700、475、575
8尺+3尺（バルコニー前）※	4500	2325	1200	5：躯体側から 900、700、900、875、775

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- ●束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

2.（つづき）

2-1 つづき

(2) つづき

※（ ）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

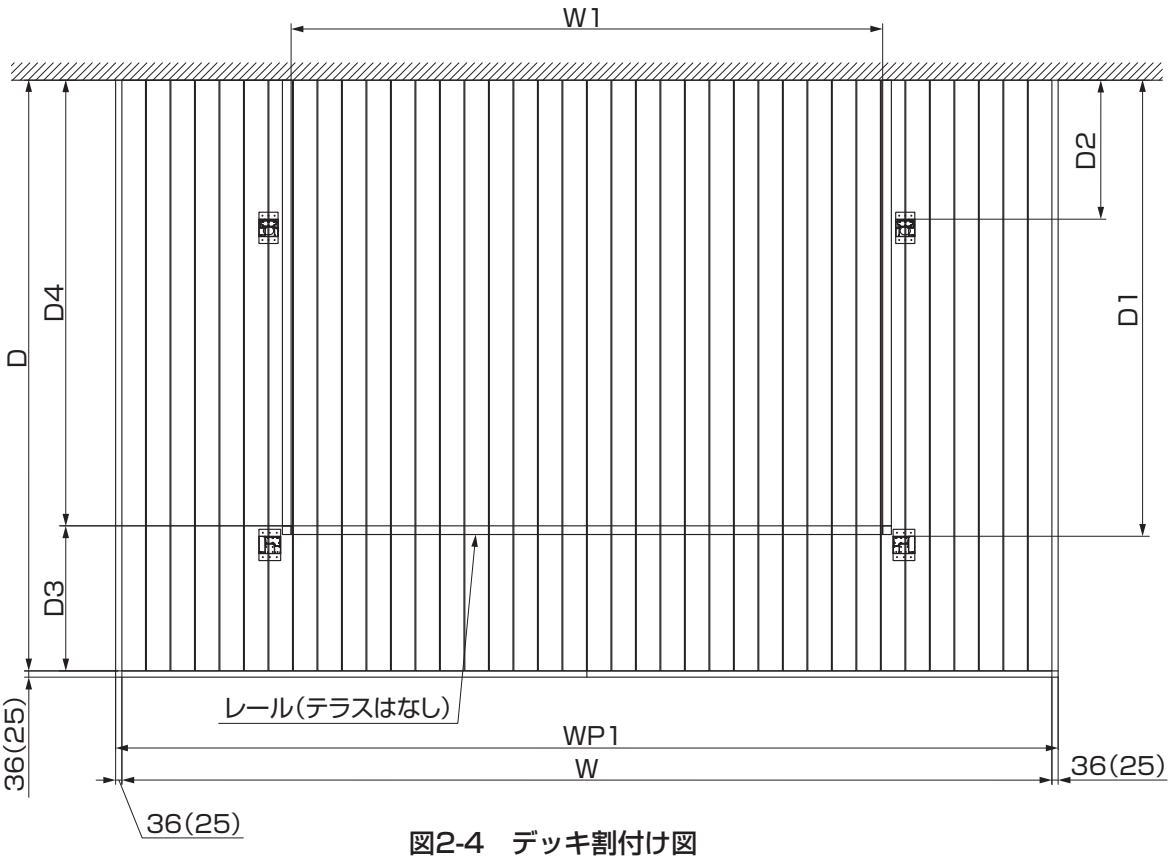


図2-4　デッキ割付け図

表2-7　間口寸法

	W	W1	WP1（ピッチ）
1.5間	4507	2495	3：正面左側から1239.5（1228.5）、2100、1239.5（1228.5）
2.0間	5353	3405	2：正面左側から2712.5（2701.5）、2712.5（2701.5）
2.5間	6340	4315	3：正面左側から1856（1845）、2700、1856（1845）

表2-8　出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4
6尺＋3尺（バルコニー下）	3400	2625	800	835	2565
8尺＋3尺（バルコニー下）	4200	3225	800	1035	3165
6尺＋3尺（バルコニー前）※	3700	2925	1100	835	2865
8尺＋3尺（バルコニー前）※	4500	3525	1100	1035	3465

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1100mmです。

ポイント

●8尺＋3尺（バルコニー下）、6尺＋3尺・8尺＋3尺（バルコニー前）の内面デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。
●外デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。

2-2 入隅仕様の場合

（1）基本納まり（6尺、8尺）の場合

※図は右入隅の場合を示します。
※図は束柱仕様を示します。

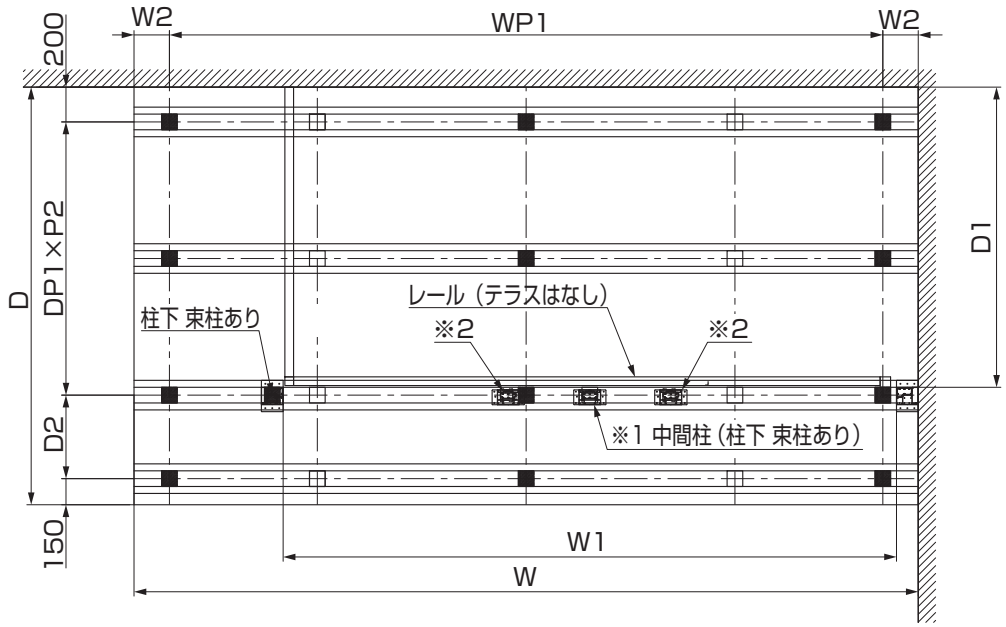


図2-5　基礎伏図

表 2-9　間口寸法

	W	W1	W2	WP1（ピッチ）
1.5 間	3661	2615	130.5	3：正面左側から 1100、1200、1100
2.0 間	4507	3525	203.5	4：正面左側から 850、1200、1200、850
2.5 間	5494	4435	247	5：正面左側から 700、1200、1200、1200、700
3.0 間	6340	5345	220	5：正面左側から 1150、1200、1200、1200、1150

表2-10　出幅寸法

	D	D1	D2	DP1（ピッチ）	P2
6 尺	2400	1725	480	2	785
8 尺	2900	2325	375	3	725

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- ※1は、標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2は、積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。
- 主柱の下には、束柱を配置します。また、連棟やエクシオールプラスの場合には、連棟柱、エクシオールプラス柱の下に束柱を別途追加してください。

2-2 つづき

（1）つづき

※（　）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

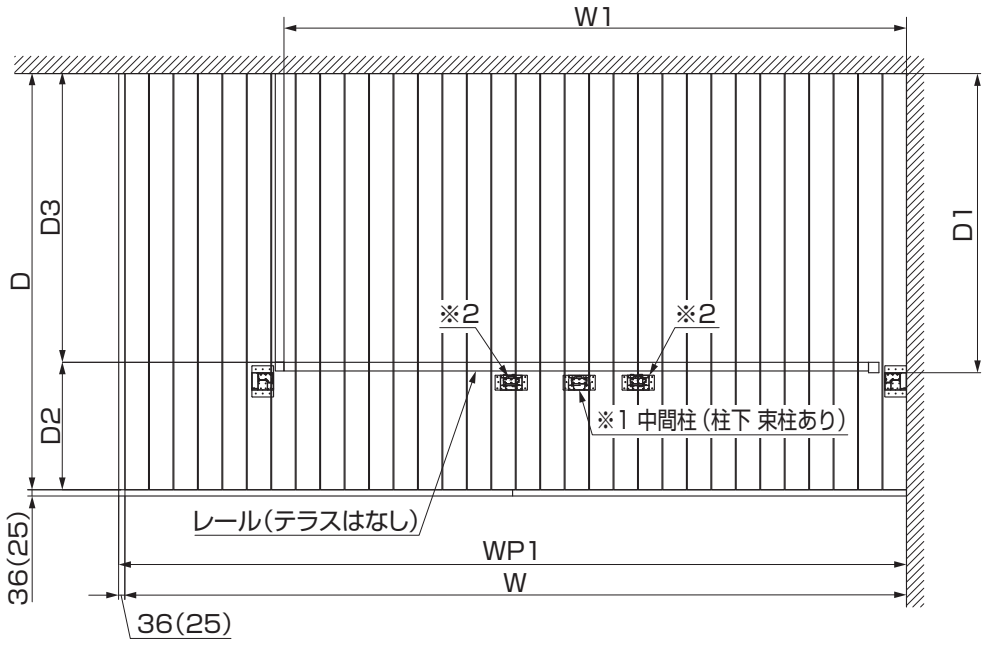


図2-6　デッキ割付け図

表2-11　間口寸法

	W	W1	WP1（ピッチ）
1.5間	3661	2680	2：正面左側から1848.5（1843）、1848.5（1843）
2.0間	4507	3590	2：正面左側から2271.5（2266）、2271.5（2266）
2.5間	5494	4500	2：正面左側から2765（2759.5）、2765（2759.5）
3.0間	6340	5410	3：正面左側から1838（1832.5）、2700、1838（1832.5）

表2-12　出幅寸法

	D	D1	D2	D3
6尺	2400	1725	735	1665
8尺	2900	2325	635	2265

ポイント

- ※1は、標準仕様の3.0間または積雪地仕様の2.0間以上の場合には中間柱を設置します。
- ※2は、積雪地仕様の2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。

(2) バルコニー下・バルコニー前納まり (6尺+3尺、8尺+3尺) の場合

※図は右入隅の場合を示します。

※図は束柱仕様を示します。

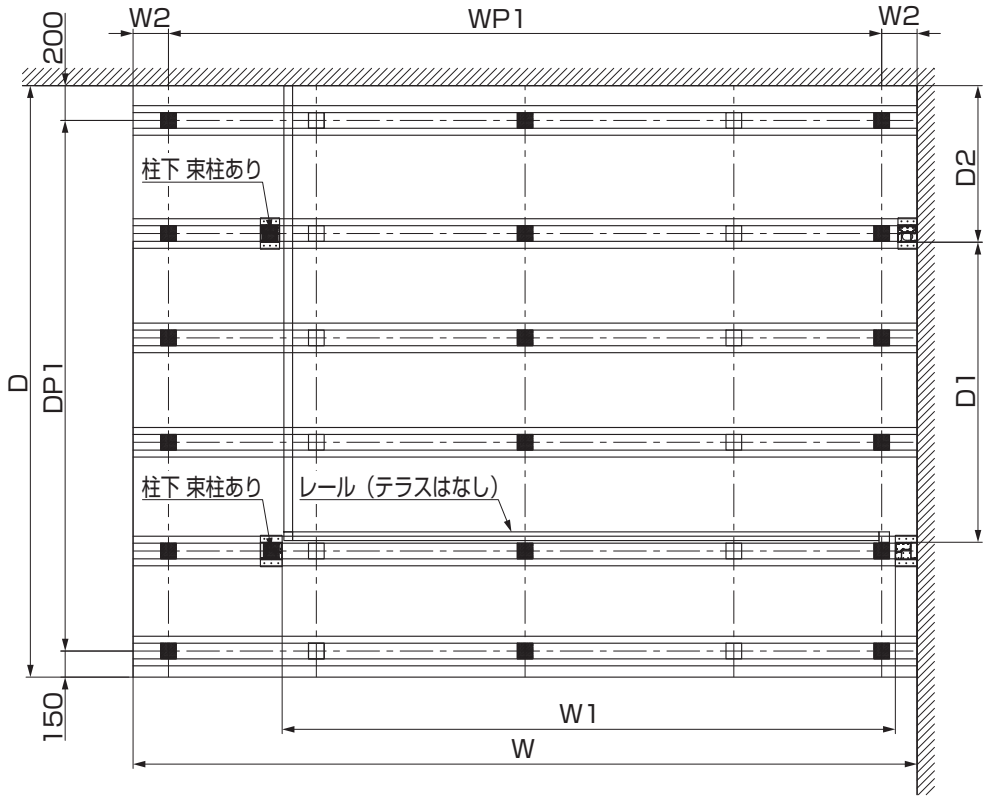


図2-7　基礎伏図

表 2-13　間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)
1.5 間	3661	2615	130.5	3 : 正面左側から 1100、1200、1100
2.0 間	4507	3525	203.5	4 : 正面左側から 850、1200、1200、850
2.5 間	5494	4435	247	5 : 正面左側から 700、1200、1200、1200、700

表 2-14　出幅寸法

	D	D1	D2	DP1 (ピッチ)
6 尺 + 3 尺 (バルコニー下)	3400	1725	900	5 : 躯体側から 650、600、600、625、575
8 尺 + 3 尺 (バルコニー下)	4200	2325	900	5 : 躯体側から 650、900、900、625、775
6 尺 + 3 尺 (バルコニー前)※	3700	1725	1200	5 : 躯体側から 900、700、700、475、575
8 尺 + 3 尺 (バルコニー前)※	4500	2325	1200	5 : 躯体側から 900、700、900、875、775

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1200mmです。

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

2-2 つづき

(2) つづき

※（　）内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

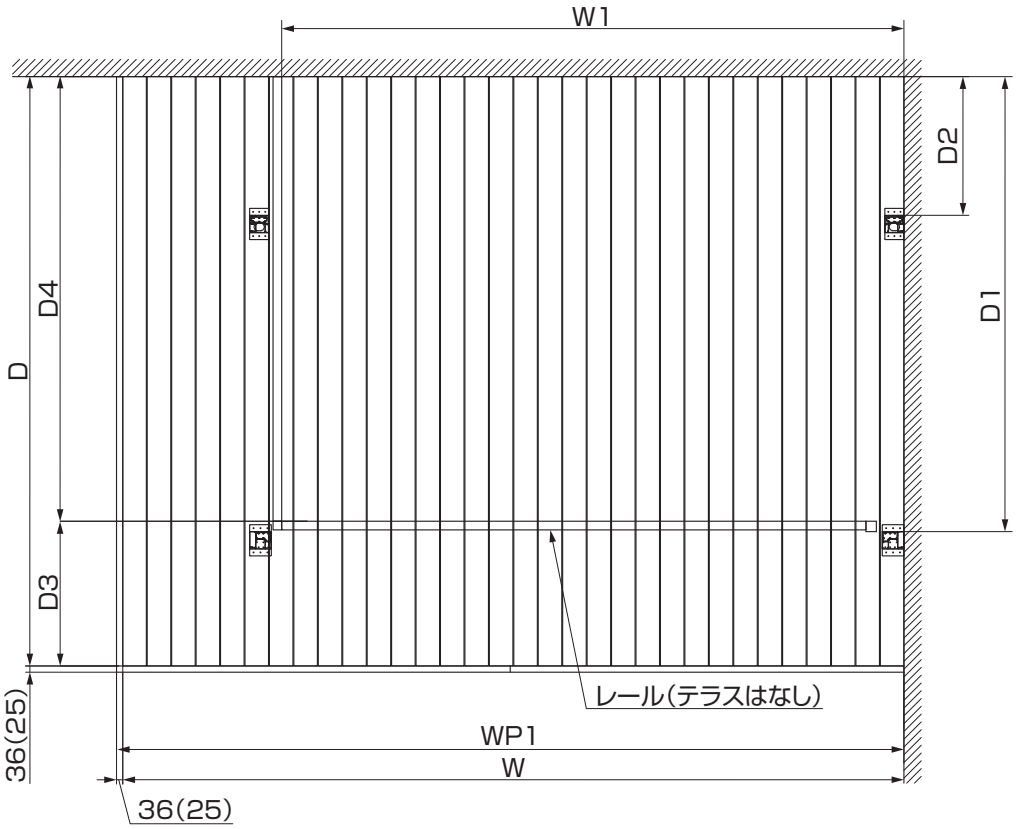


図2-8　デッキ割付け図

表2-15　間口寸法

	W	W1	WP1（ピッチ）
1.5間	3661	2680	2：正面左側から1848.5（1843）、1848.5（1843）
2.0間	4507	3590	2：正面左側から2271.5（2266）、2271.5（2266）
2.5間	5494	4500	2：正面左側から2765（2759.5）、2765（2759.5）
3.0間	6340	5410	3：正面左側から1838（1832.5）、2700、1838（1832.5）

表2-16　出幅寸法

	D	D1	D2	D3	D4
6尺＋3尺（バルコニー下）	3400	2625	800	835	2565
8尺＋3尺（バルコニー下）	4200	3225	800	1035	3165
6尺＋3尺（バルコニー前）※	3700	2925	1100	835	2865
8尺＋3尺（バルコニー前）※	4500	3525	1100	1035	3465

※バルコニー前仕様のD2寸法はMAX1100mmです。

ポイント

●8尺＋3尺（バルコニー下）、6尺＋3尺・8尺＋3尺（バルコニー前）の内面デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。
●外デッキの床板は、根太または大引きの上で継いでください。

2　作業を行う前に

1. 水盛遣方・水糸張り

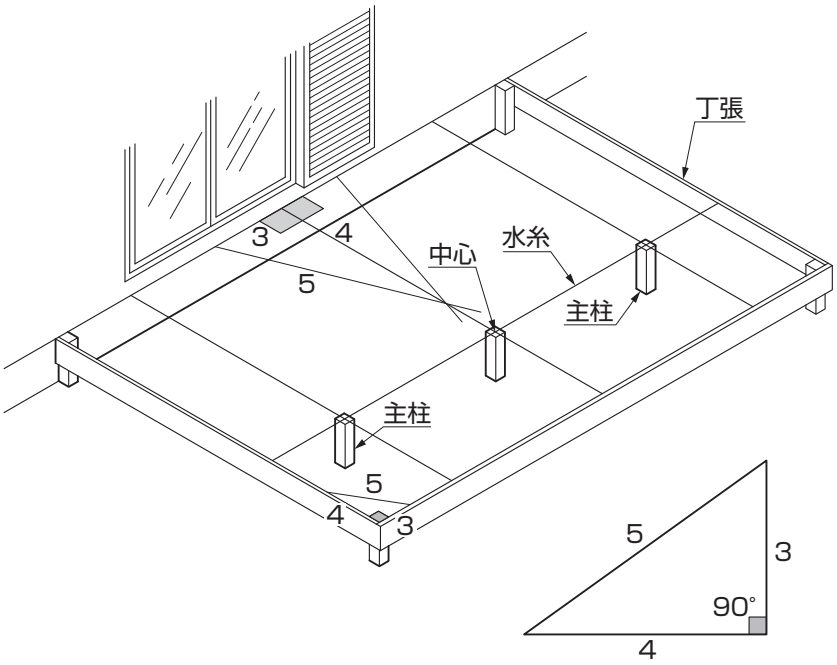


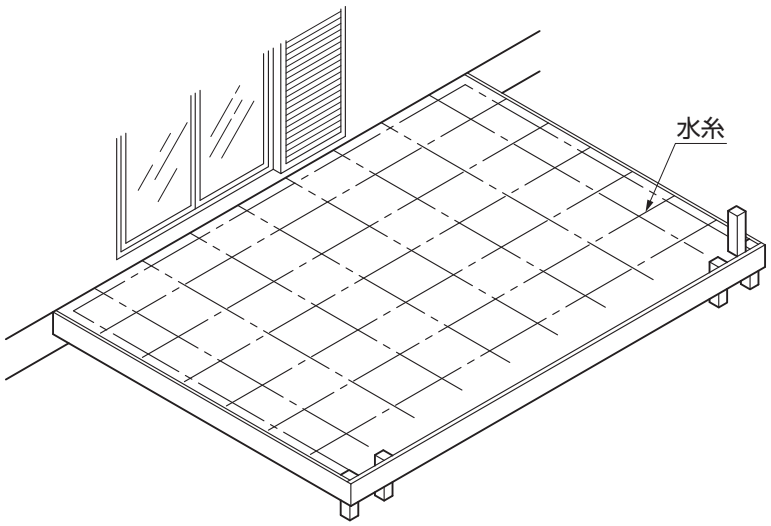
図1-1　直角出し寸法

①「自然浴家族 ジーマ －本体編－（E273）」を参照して、ジーマ本体の取付け位置とジーマ面床レベルを決めてください。
②前面・両側面に丁張を組んでください。
③躯体に柱寸法の印を付け、図1-1の直角出し寸法の方法で直角を出し、本体の中心位置出しをしてください。
④本体の中心の位置から、両側の主柱位置を決めてください。

ポイント

- ●丁張の位置はデッキ面より正面・両側面ともやや大きめに決めてください。
- ●丁張は水平器等で水平を取ってください。
- ●各コーナーの直角を出してください。

2. 基礎石配置



①前面・両側面の水糸に寸法出しをし、「2 基本寸法」を参照して、基礎石の位置を決定してください。

ポイント

- ●本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

3　基礎の施工

1. 基礎施工1__束柱仕様　※束柱仕様の場合の作業です。

1-1　調整根太部品の取付け

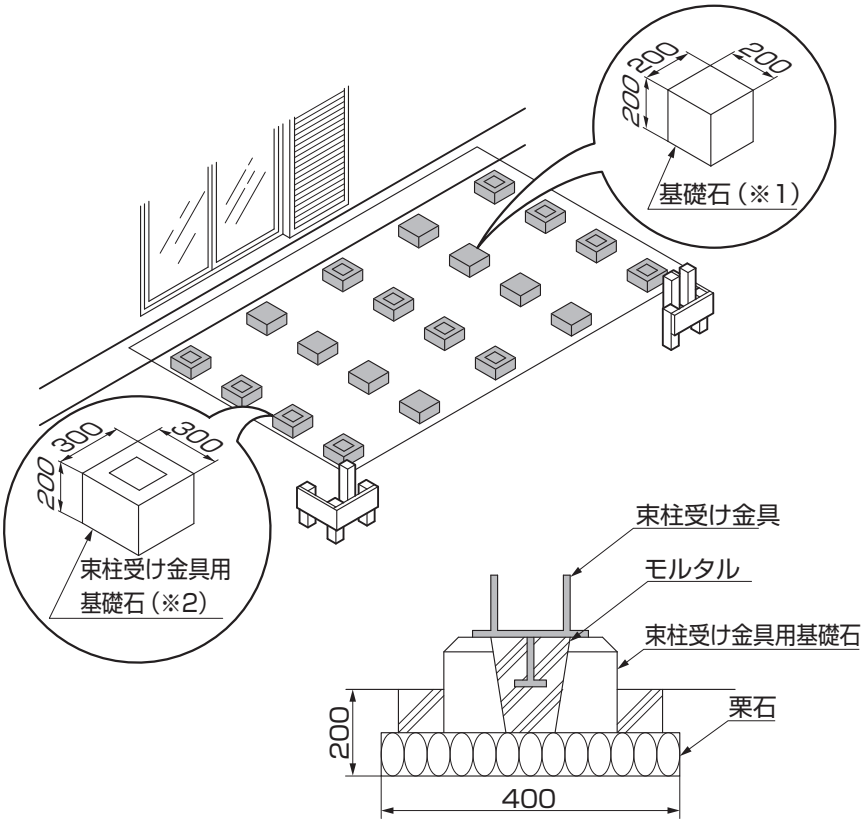


図1-1

①各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いて、基礎石（※1）と、束柱受け金具用基礎石（※2）を据えてください。

ポイント

●この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

②基礎石のレベルを出してください。
③図1-1のように、束柱受け金具用基礎石にモルタルで、束柱受け金具を埋込んでください。
④基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

ポイント

●コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

1-2　束柱の建込み

（1）フラットデッキの場合

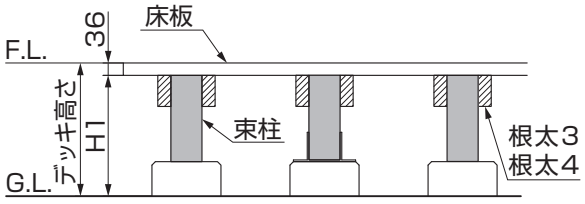


図1-2　ウェスタン・レッドシダーの場合の束柱の高さ寸法

①束柱の高さ寸法のH1を出してください。（図1-2、図1-3参照）

補足

●H1はデッキ部束柱の高さを示します。

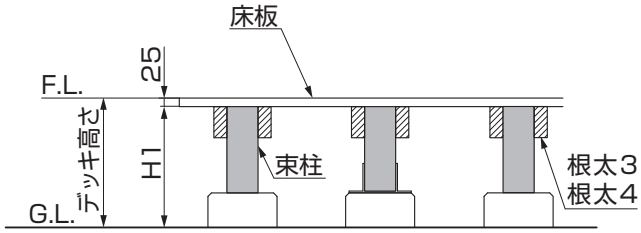


図1-3　イペセレクトの場合の束柱の高さ寸法

②両端部に束柱を建てて、オートレベル器もしくは水盛器でレベルを出し、水糸を張って残りの束柱を建ててください。

ポイント

●束柱の上面が設定レベルH1より上に出ないようにしてください。

（2）内面立ち上げ仕様の場合

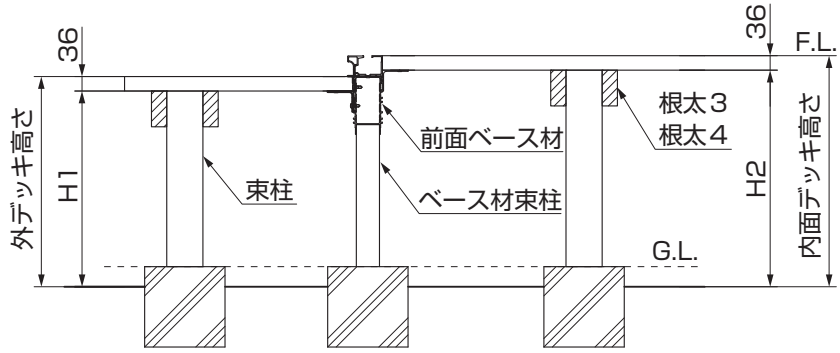


図1-4 ウエスタン・レッドシダーの場合

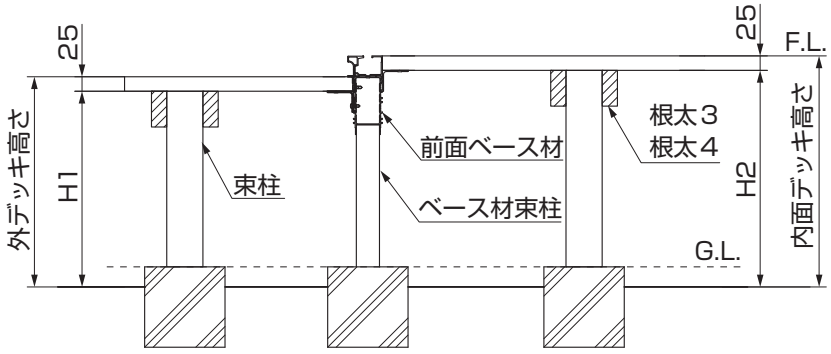


図1-5 イペセレクトの場合

①束柱の高さ寸法のH1、H2を出してください。（図1-4、図1-5参照）

補 足

- H1はデッキ部束柱の高さを示します。
- H2はH1＋36mmです。

②両端部に束柱を建てて、オートレベル器もしくは水盛器でレベルを出し、水糸を張って残りの束柱を建ててください。

ポイント

- 束柱の上面が設定レベルH1、H2より上に出ないようにしてください。

（3）束柱の建込み

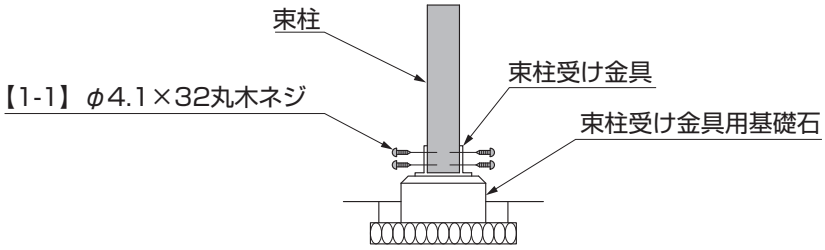


図1-6

①束柱受け金具を埋込んだ基礎石に束柱を建てて、【1-1】で固定してください。（図1-6参照）

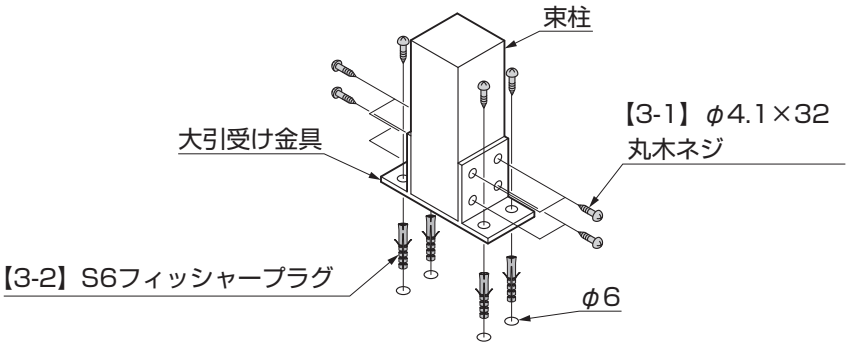


図1-7

ポイント

- 床面がコンクリートまたはタイル貼りしてある場合は、床に【3-2】を埋込んで、束柱と床面を大引受け金具で固定してください。（図1-7参照）

1.（つづき）

1-3 根太の取付け ※内面デッキ立上げ仕様の場合は「5 内面デッキ立上げ仕様」を確認してください。

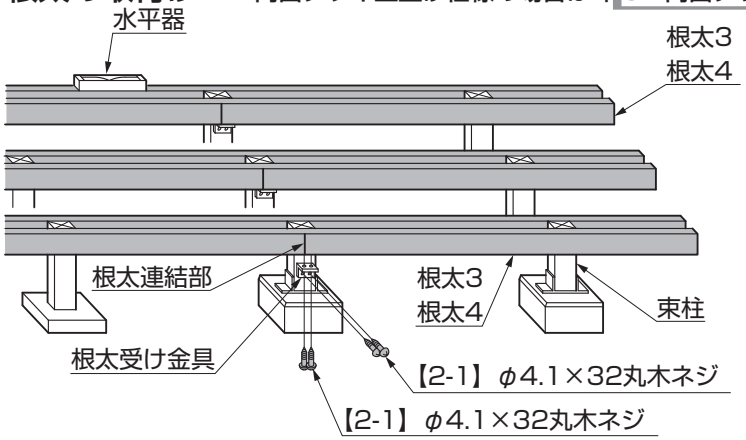


図1-8 根太の取付け

①レベルに合わせて根太を束柱に、【14-1】または、【15-1】で止めてください。
根太の連結は束柱のセンターで行ない、根太受け金具を、【2-1】で固定してください。

ポイント

●根太の水平が出るように施工してください。水平が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

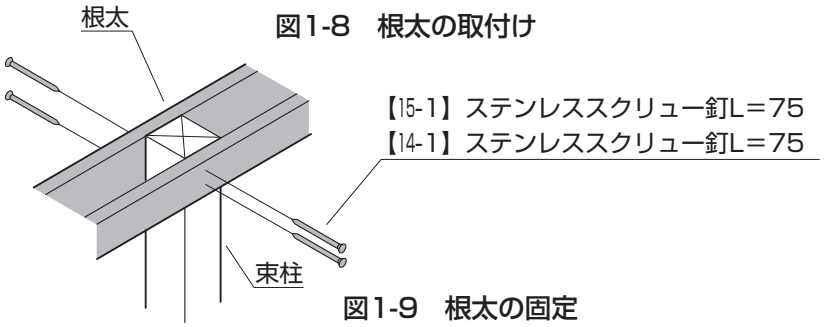


図1-9 根太の固定

②束柱に根太受け金具を止めて、根太と【2-1】で固定してください。

2. 基礎施工2__大引仕様

※大引仕様の場合の作業です。
※大引の水平が出るように施工してください。
水平が出ないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

2-1 高さ出し

（1）フラット仕様施工の場合

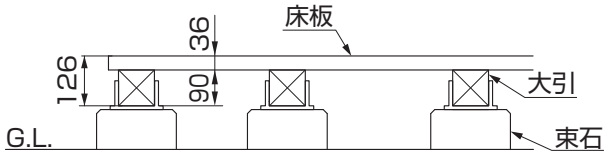


図2-1 ウェスタン・レッドシダーの場合

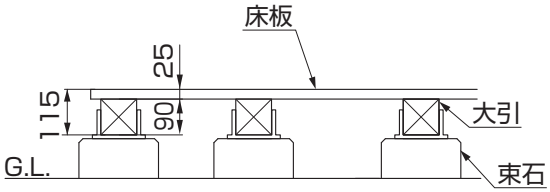


図2-2 イペセレクトの場合

（2）内面立上げ仕様施工の場合

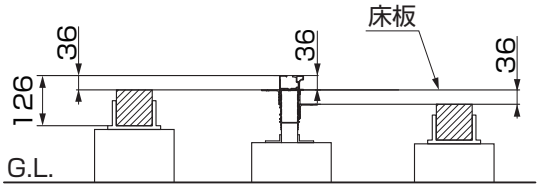


図2-3 ウエスタン・レッドシダーの場合

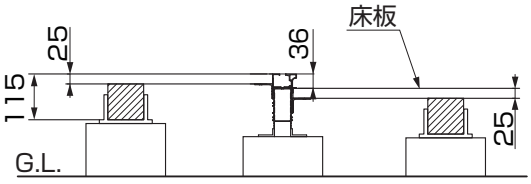


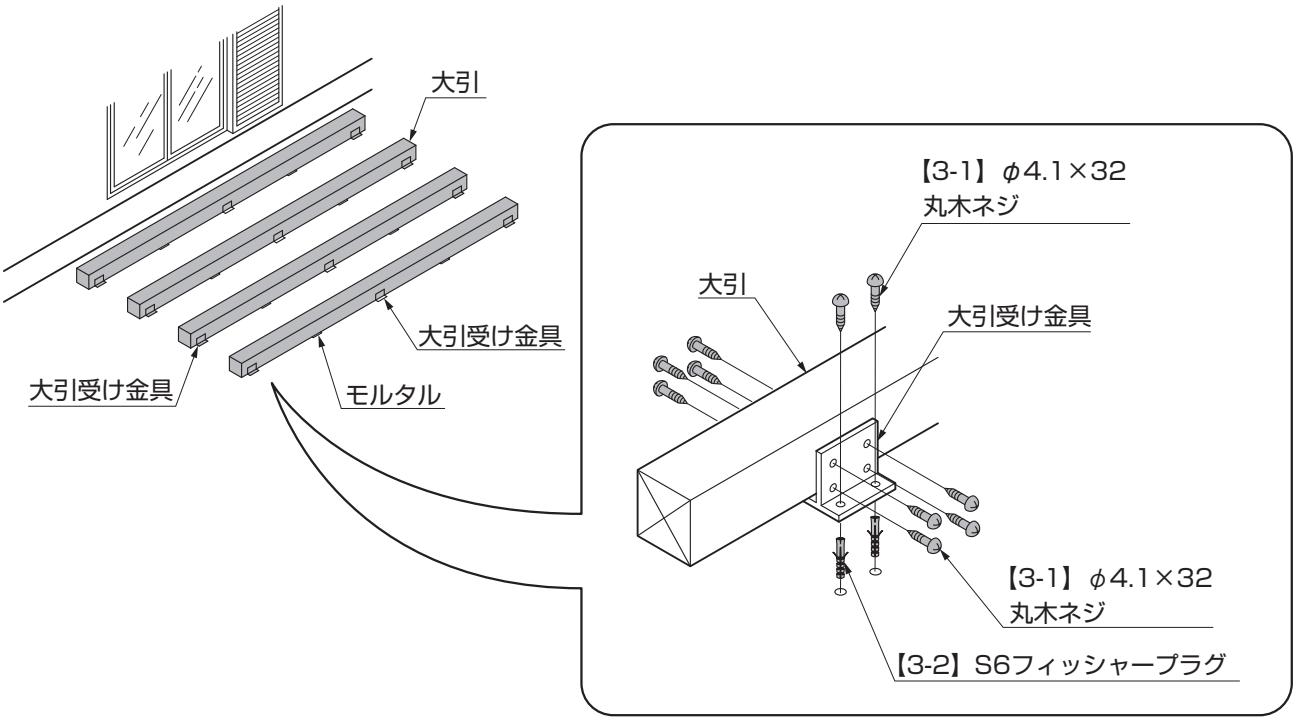
図2-4 イペセレクトの場合

①図を参照して、G.L.からの高さを出してください。

ポイント

●内面デッキ立上げ仕様の場合は、内面デッキの床面が外デッキの床板から36mm立上がるように基礎石を据えてください。

2-2　大引受け金具使用の場合

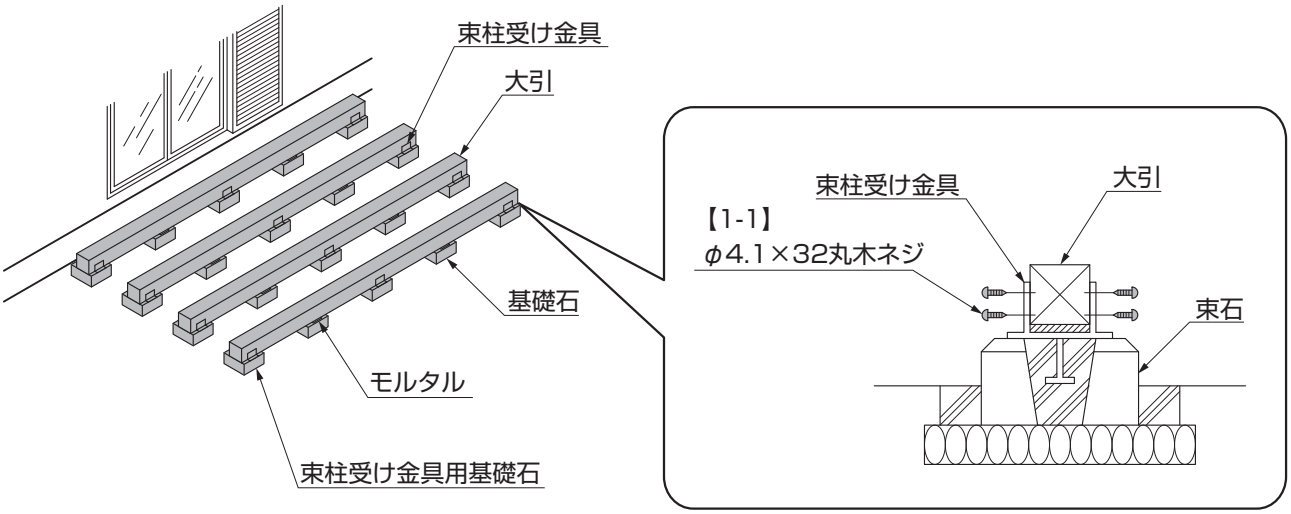


①「1 基本寸法」を参照して、基礎石または土間コンクリートに大引受け金具を、【3-1】、【3-2】で固定してください。
②大引のレベル出しをして、大引受け金具にのせて横から、【3-1】で固定してください。

ポイント

●大引と大引受け金具の間にすき間が生じた場合モルタル等で補強してください。

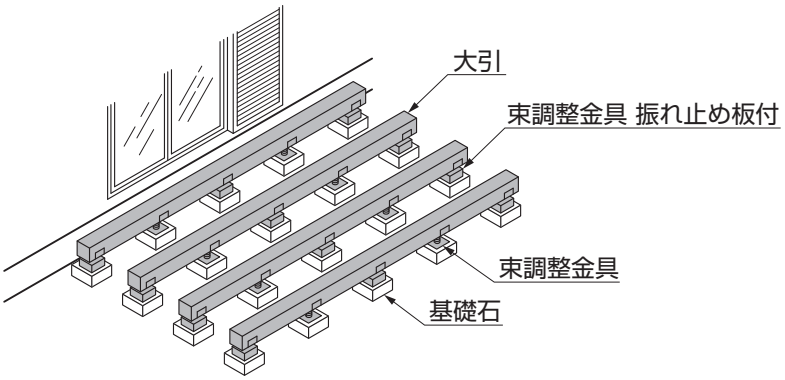
2-3　束柱受け金具使用の場合

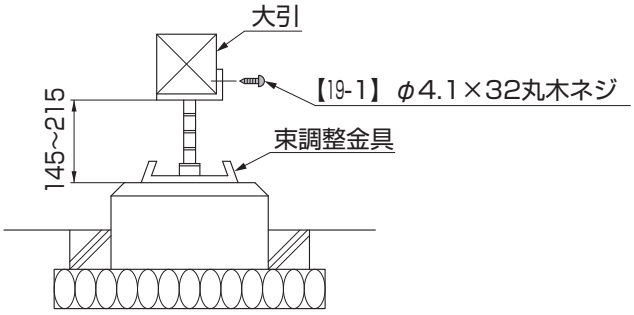


①「1 基本寸法」を参照して、各々の基礎石に束柱受け金具をモルタルで固定してください。
② 大引のレベルを出して、束柱受け金具にのせて横から、【1-1】で固定してください。

2.（つづき）

2-4 束調整金具使用の場合





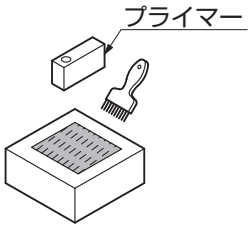


図2-5

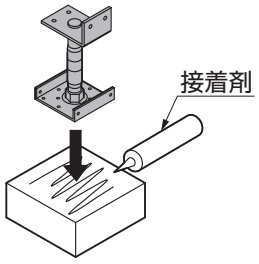


図2-6

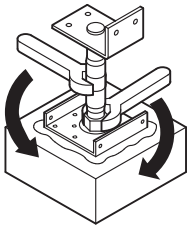


図2-7

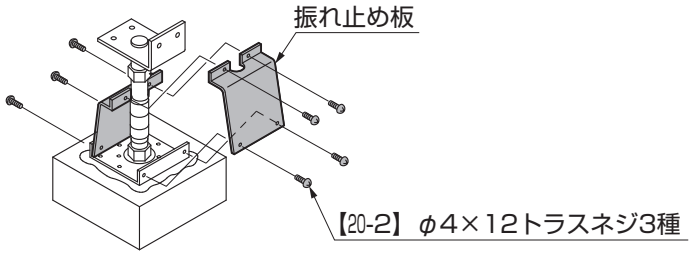


図2-8 振れ止め板の取付方法

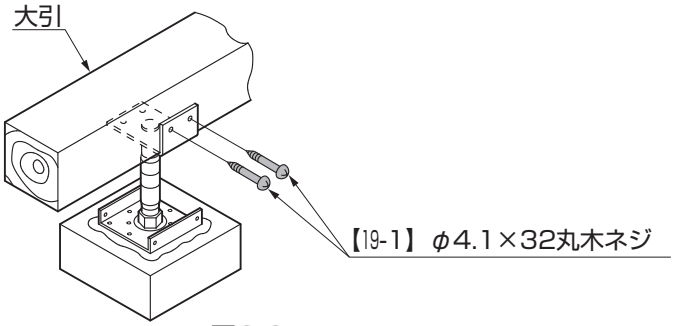


図2-9

①図2-5のように、束石の束調整金具取付け位置に、プライマーを塗布してください。
②プライマーを塗布したところに接着剤を塗布してください。

ポイント

●接着剤の塗布は、プライマー塗布後30分～4時間以内に行なってください。

③ヘラで接着剤をならして、束調整金具を接着してください。

ポイント

●接着後は束調整金具を動かさないようにしてください。

④図2-7のように調整金具の各々のレベル調整を行ない、シャフトに組付いている六角ナットを締めて固定してください。

ポイント

●束調整金具の高さは、145mm～215mmまで調整可能です。

⑤「2 基本寸法」を参照して、必要な部分に、振れ止め板を束調整金具に、【20-2】で取付けてください。（図2-6参照）
⑥大引を束調整金具にのせて、横から【19-1】で束調整金具に固定してください。（図2-9参照）

4　フラットデッキ仕様の施工

1. デッキの施工

1-1　ウェスタン・レッドシダーの場合

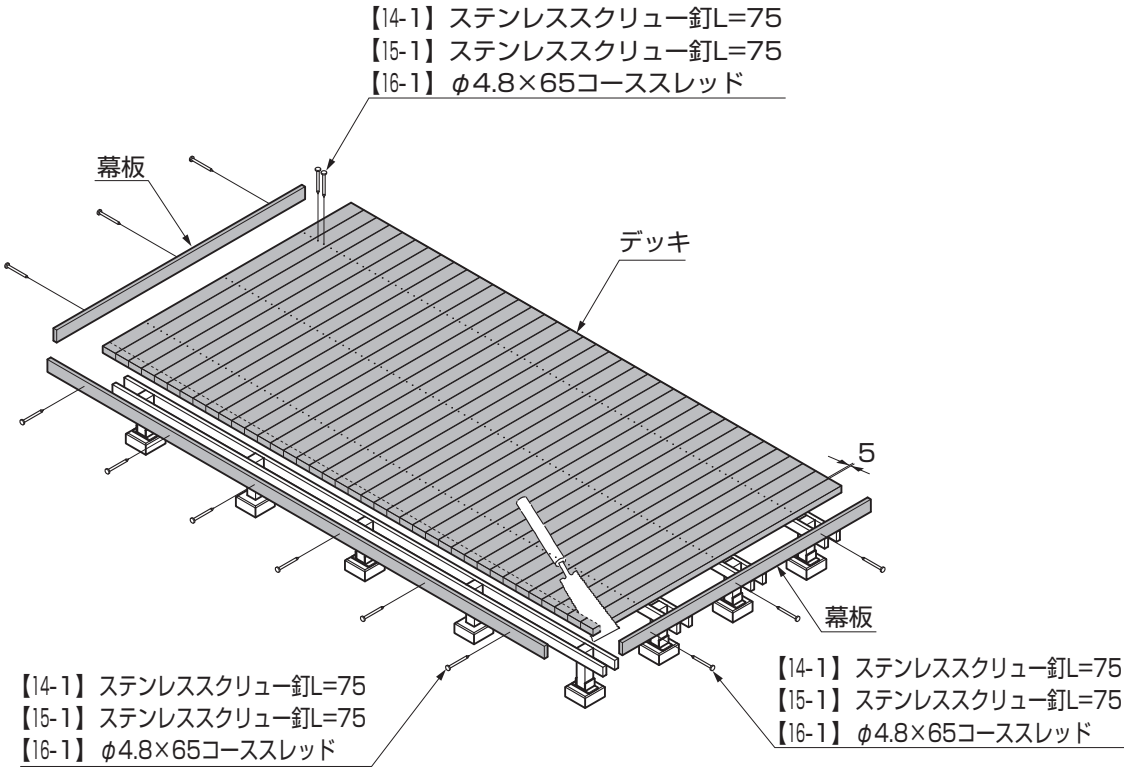


図1-1

①デッキを根太または大引に、【14-1】または【15-1】、【16-1】で、取付けてください。

ポイント

●板張り込みはセンターから左右に張り込みしてください。
●目地ピッチは約5mmあけてください。目地が小さいとデッキに落ちる水の流れが悪くなり腐れの原因になります。

②側面および前面に幕板を、【14-1】または【15-1】、【16-1】で止めてください。

ポイント

●前面の幕板はデッキのラインをそろえてから、前面幕板を止めてください。
●デッキ、幕板をよりきれいに仕上げる場合は、下穴に加え皿取りをしてください。

1.（つづき）

1-2 イペセレクトの場合

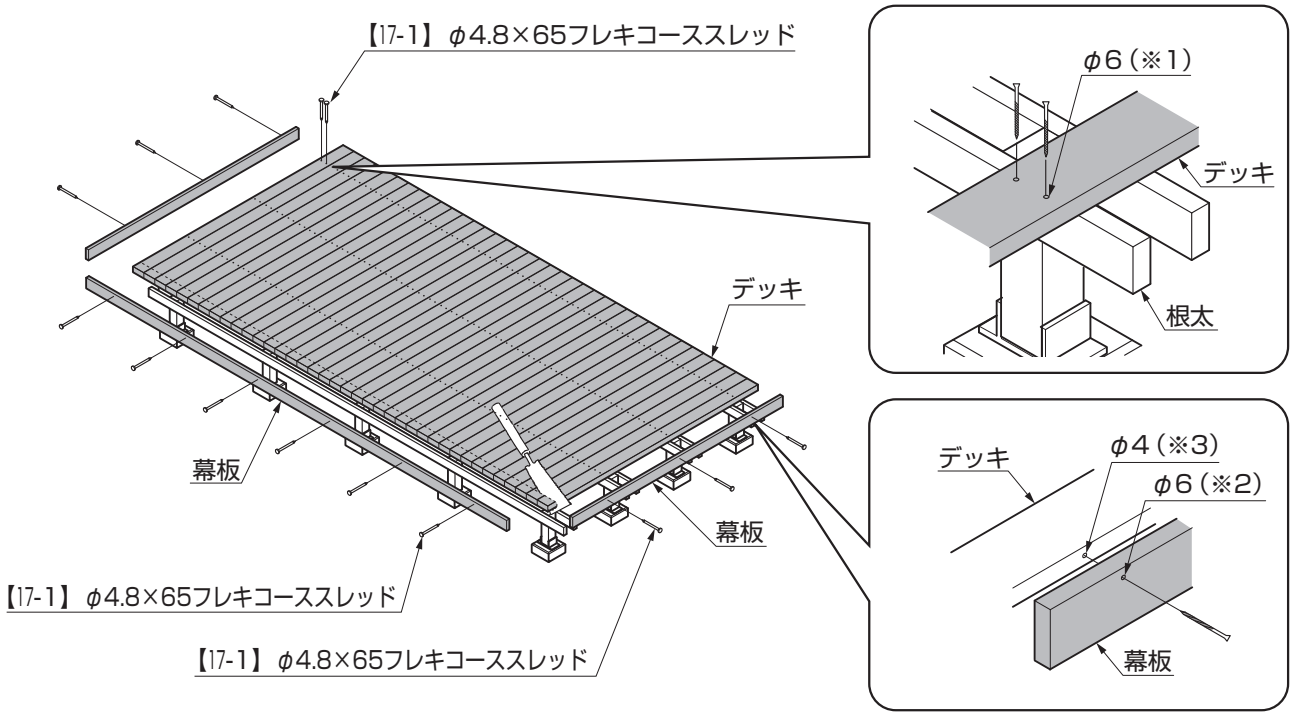


図1-2

①デッキに、φ6の下穴（※1）をあけてください。
②デッキを根太または大引に、【17-1】で取付けてください。

ポイント

●板張り込みは、センターから左右に張り込みしてください。
●目地ピッチは約5mmあけてください。目地が小さいと、デッキに落ちる水の流れが悪くなり腐れの原因になります。

④側面および前面に幕板を、【17-1】で止めてください。

ポイント

●幕板に、φ6の下穴（※2）をあけてください。
●前面の幕板は、デッキのラインをそろえてから前面幕板を止めてください。
●イペセレクト材にイペセレクト用デッキネジを打ち込む場合は、φ4の下穴（※3）を開けてください。
●デッキ、幕板をよりきれいに仕上げる場合は、下穴に加え皿取りをしてください。

2. 本体の施工

2-1 主柱固定ベースプレートの取付け　※図は右側を示します。左側は図と対称です。

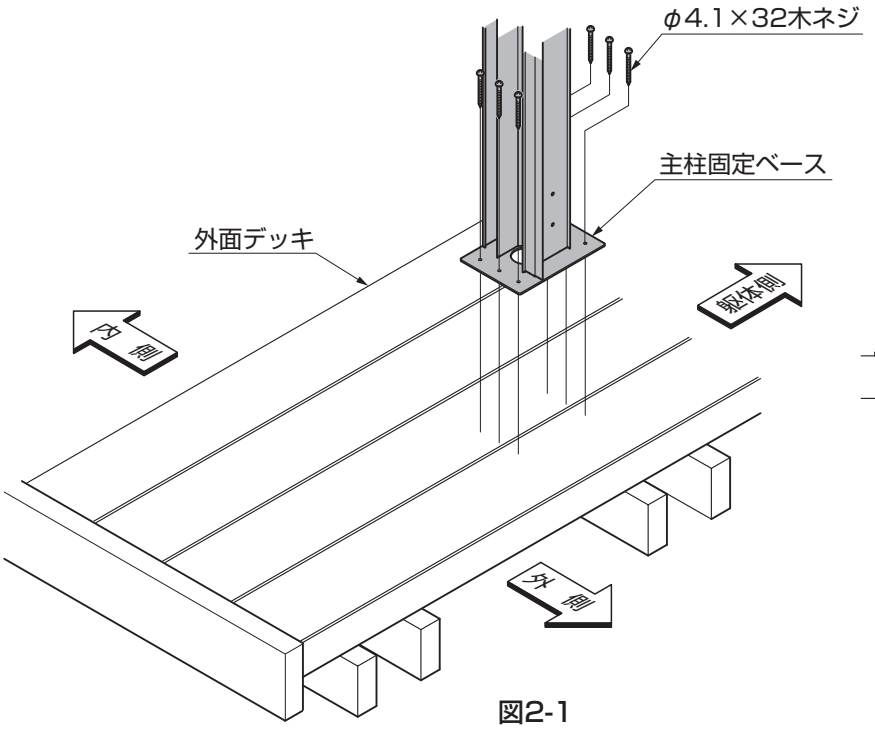


図2-1

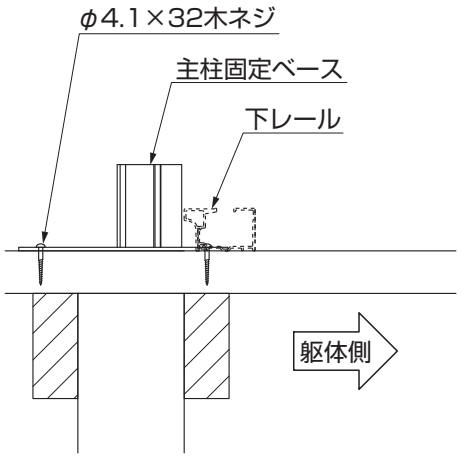


図2-2

①柱固定ベースプレートを外面デッキに「φ4.1×32木ネジ」で取付けてください。

ポイント

●柱の取付けは「自然浴家族 ジーマ －本体編－（E273）」を参照して取付けてください。
●ベースプレートの固定は、下レールの位置が決まるまで仮固定としてください。

2-2 下レールの取付け

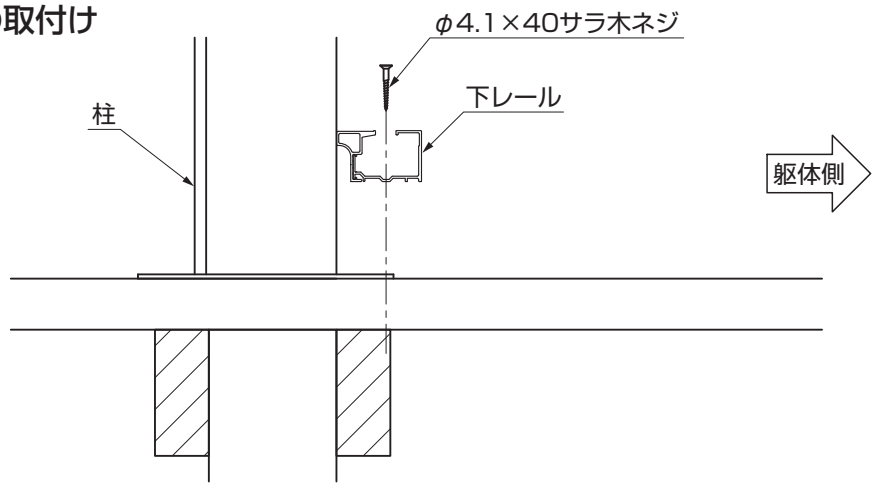


図2-3

①下レールをデッキに「φ4.1×40サラ木ネジ」で取付けてください。

ポイント

●レールの取付けは「自然浴家族 ジーマ －本体編－（E273）」を参照して取付けてください。
●丸木ネジ、サラ木ネジを間違えないように施工してください。

5　内面デッキ立上げ仕様の施工

1. 内面デッキの施工

1-1　根太の取付け

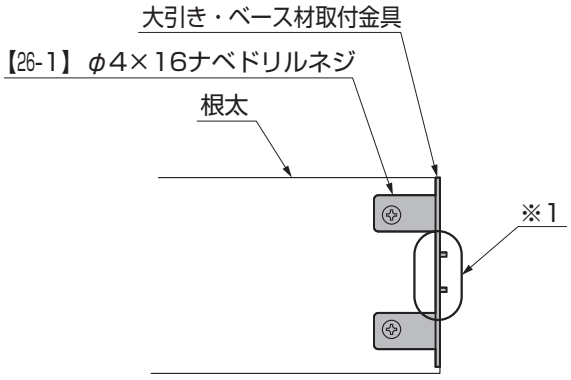


図1-1

①根太を内面デッキ内々寸法で切断してください。

②根太に大引・ベース材取付金具を【26-1】で取付けてください。

ポイント

●大引・ベース材取付金具は、金具の上面と根太の上面を合わせ、部品中央部のフィンの分（※1）だけが、根太端面から出っ張るように取付けてください。

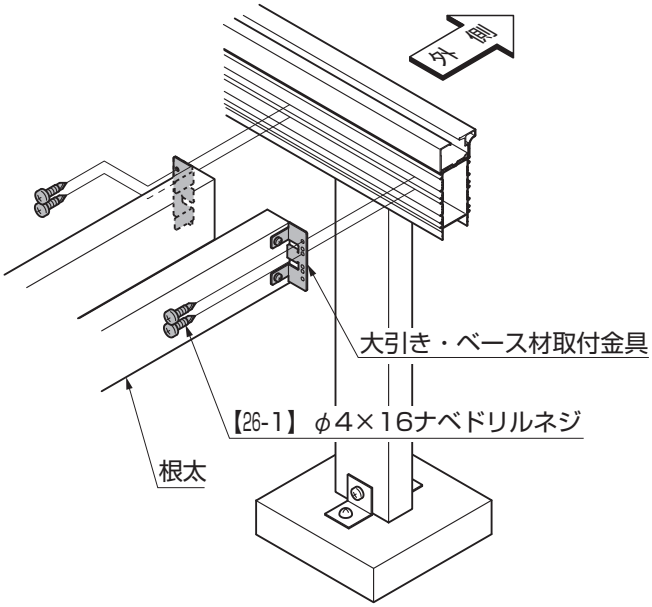


図1-2

③大引・ベース材取付金具を側面ベース材に【26-1】で取付けてください。

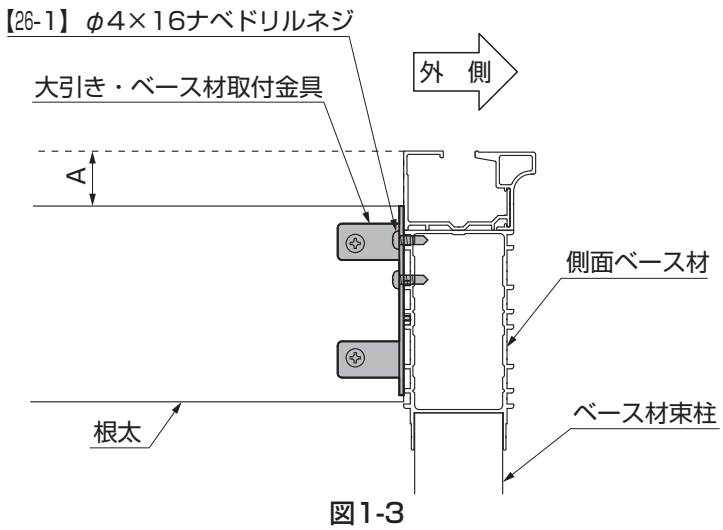


図1-3

表1-1　A寸法

	A
イペセレクト	25
ウエスタン・レッドシダー	36

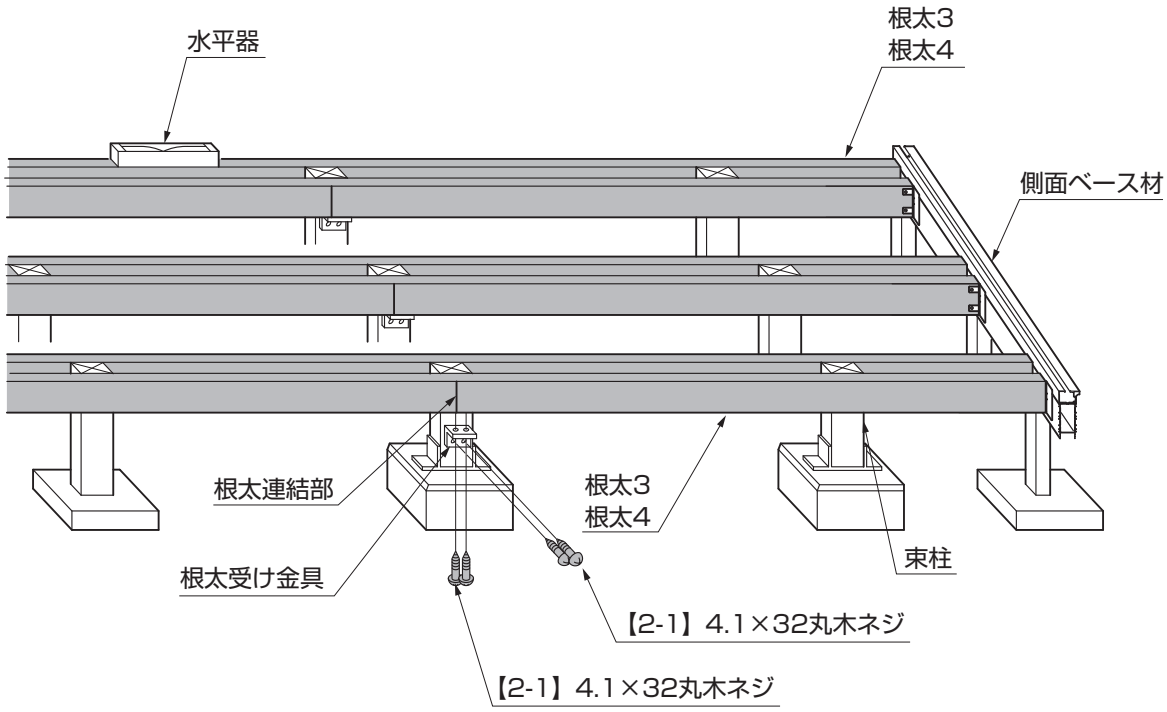


図1-4　根太の取付け

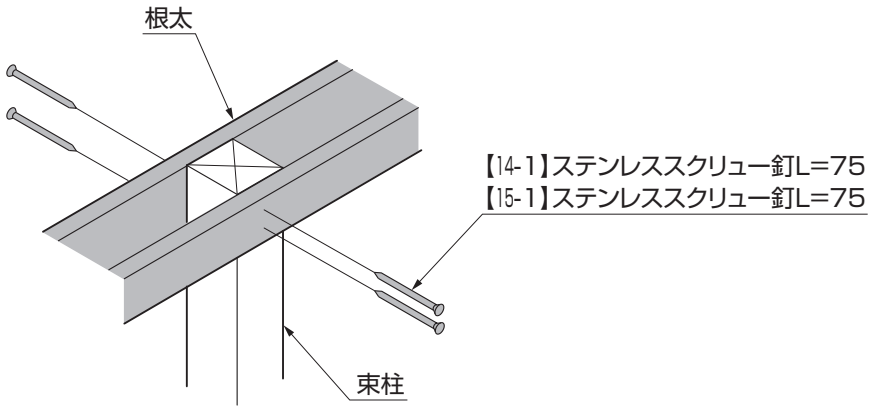


図1-5　根太の固定

④レベルを合わせて根太と束柱を【14-1】または【15-1】で固定してください。根太の連結は束柱のセンターで行ない、根太受け金具を【2-1】で固定してください。

ポイント

●根太の水平が出るように施工してください。水平が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

⑤束柱に根太受け金具を止めて、根太と【2-1】で固定してください。

1.（つづき）

1-2　内面デッキの張付け

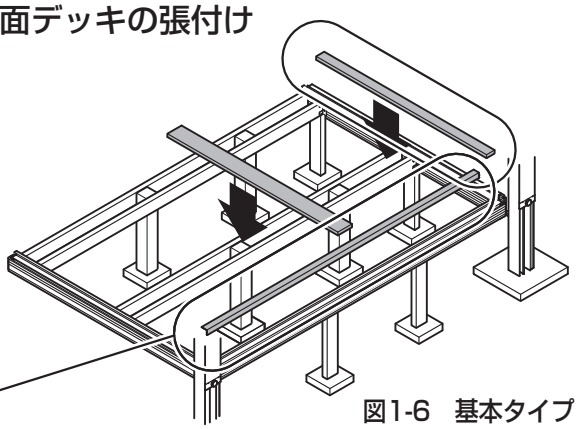


図1-6　基本タイプ

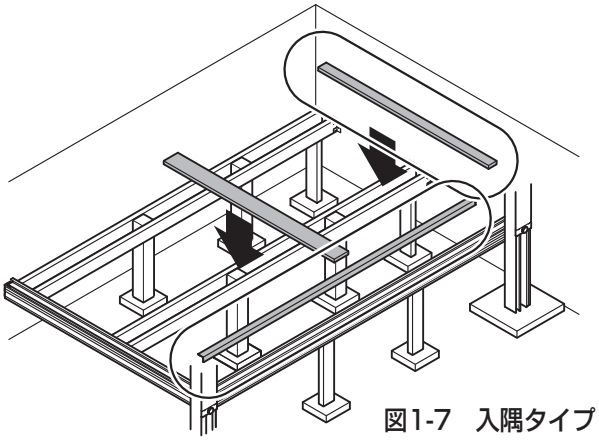


図1-7　入隅タイプ

（1）デッキ受け材の取付け

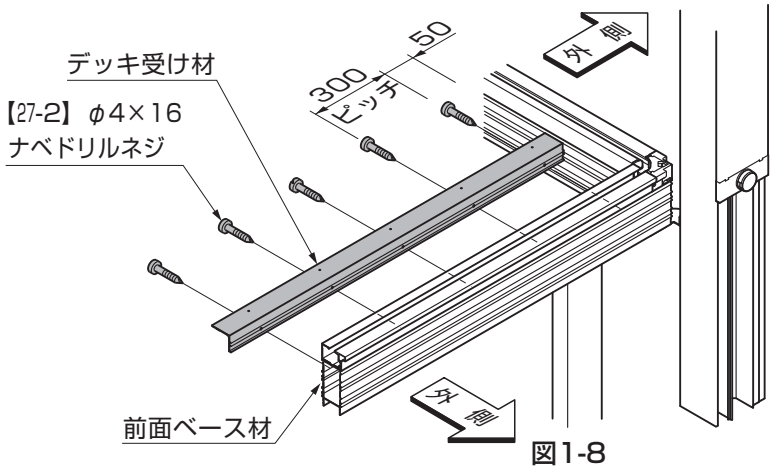


図1-8

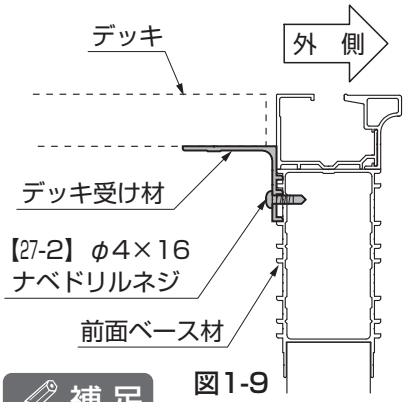


図1-9

補足

●ウェスタン・レッドシダー、イペセレクトの場合は、デッキ受け材の加工穴は使用しません。

①デッキ受け材を前面ベース材に【27-2】で取付けてください。

（3）内面デッキの張付け

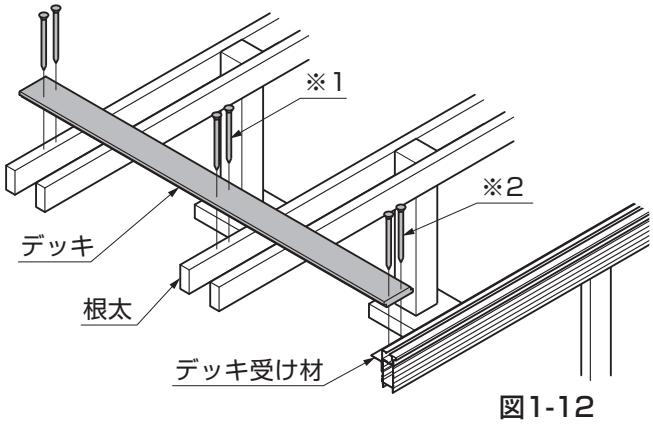


図1-12

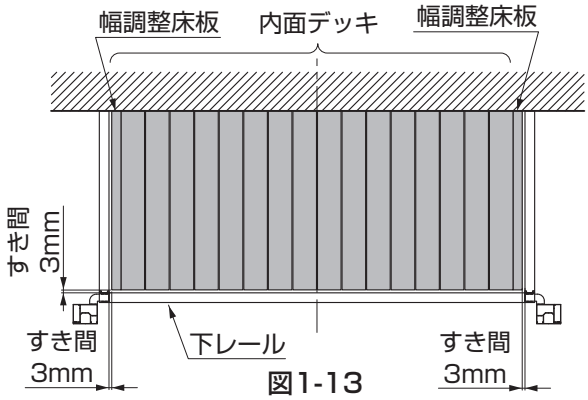


図1-13

①デッキをデッキ受け材に【30-1】、根太に【14-1】、【15-1】、【17-1】で取付けてください。

表1-3　デッキ取付けネジ使い分け表

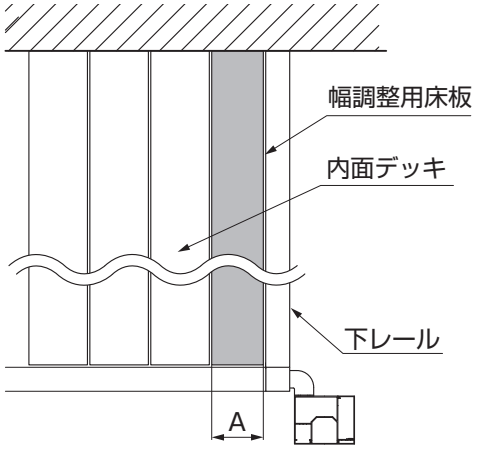
	固定個所：根太（※1）	固定個所：デッキ受け材（※2）
イペセレクト	【17-1】φ4.8×65 フレキコースレッド	【30-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ
ウエスタン・レッドシダー	【14-1】、【15-1】 ステンレススクリュー釘L=75	【30-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ

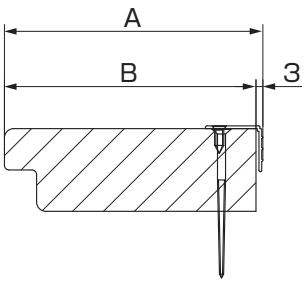
ポイント

●イペセレクトの場合は、デッキにφ6の下穴をあけて取付けてください。

●内面デッキとベースのすき間を3mm程度あけて張込んでください。

(2) 幅調整用床板の加工





A：見切り材を含む
調整幅
B：床板縦切りW寸法

図1-10

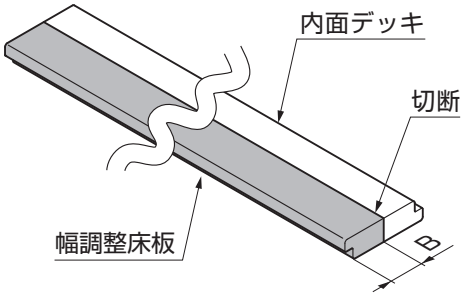


図1-11

表1-2　内面デッキ 幅調整床板加工寸法

	(左) 幅調整床板寸法		(右) 幅調整床板寸法	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
基本1.5間	102	99	102	99
基本2.0間	112.5	109.5	112.5	109.5
基本2.5間	59.5	56.5	59.5	56.5
基本3.0間	70	67	70	67
入隅1.5間	74	71	61	58
入隅2.0間	70	67	86	83
入隅2.5間	80	77	97	94
入隅3.0間	100	97	98	95

①両端に取付けるデッキを図1-11、表1-2を参照して幅調整用床板に加工してください。

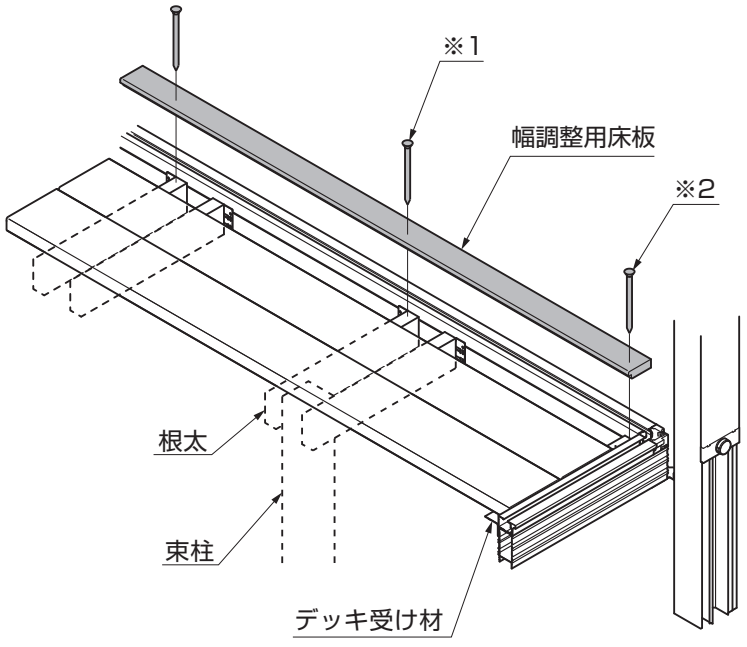


図1-14

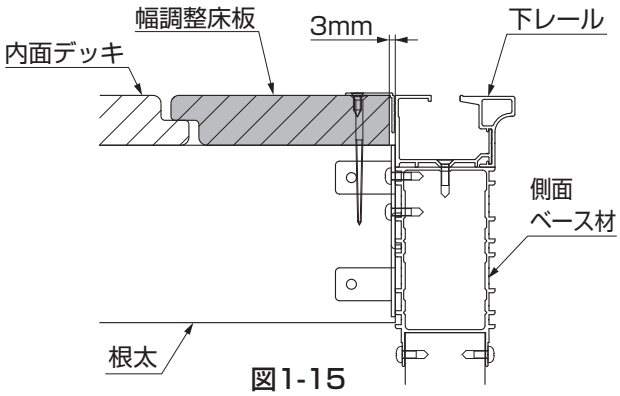


図1-15

②幅調整床板をデッキ受け材に【30-1】、根太に【14-1】、【15-1】、【17-1】で取付けてください。(表1-3参照)

ポイント

●幅調整床板とベース・下レールのすき間を3mm程度あけて張込んでください。

1.（つづき）

1-3 見切り材の取付け

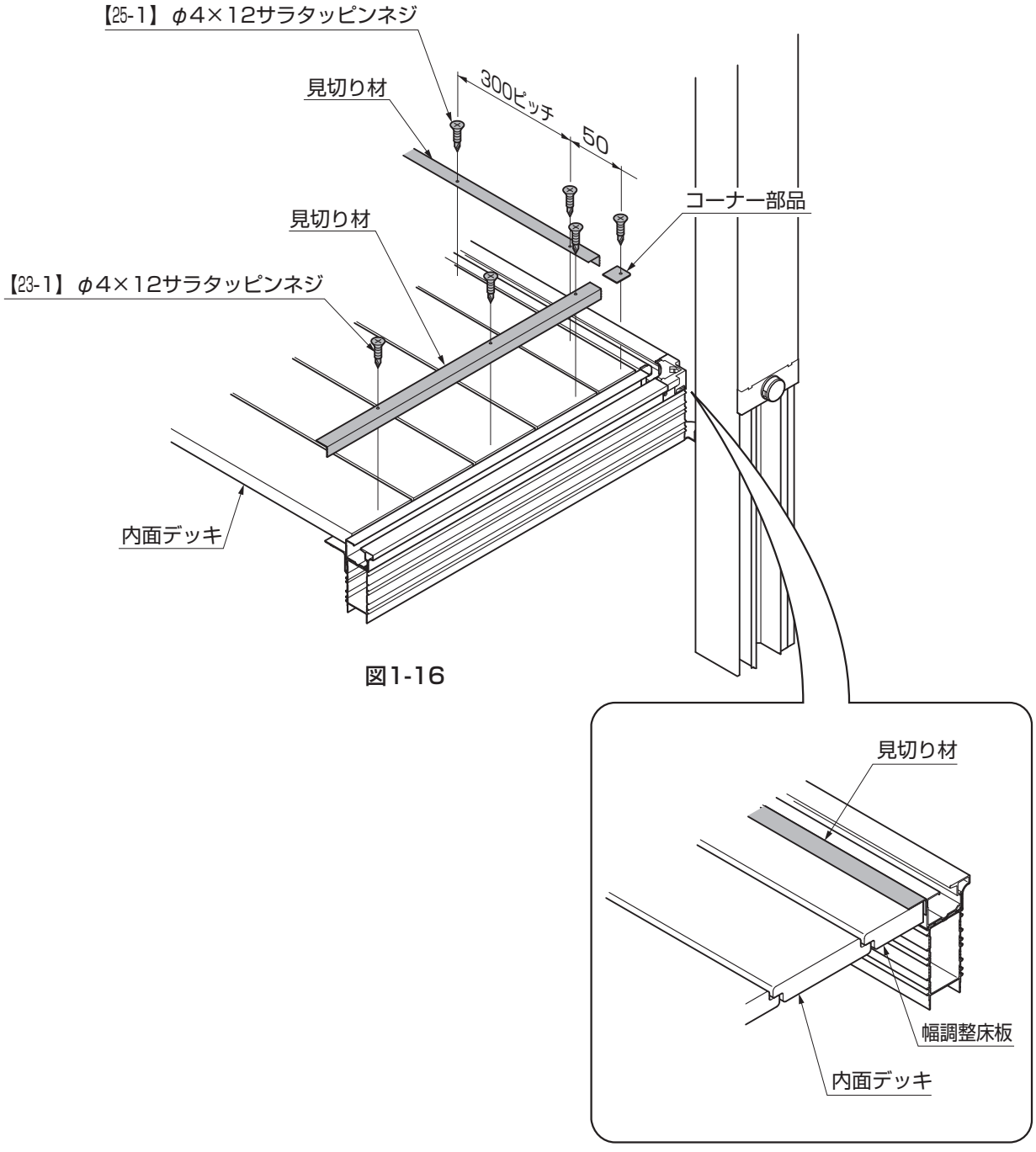


図1-16

①見切り材を固定する位置にφ5の下穴をあけてください。
②見切り材をデッキの端部にはめ込んで、【23-1】、【25-1】で取付けてください。

ポイント

- ●見切り材を固定する位置に下穴加工をする際、幅調整床板を固定しているネジ位置を避けるよう、確認してから下穴加工をしてください。
- ●イペセレクトの場合には、床板にφ3の下穴をあけてください。

1-4 連棟仕様の入隅用コーナー柱間のデッキ納め

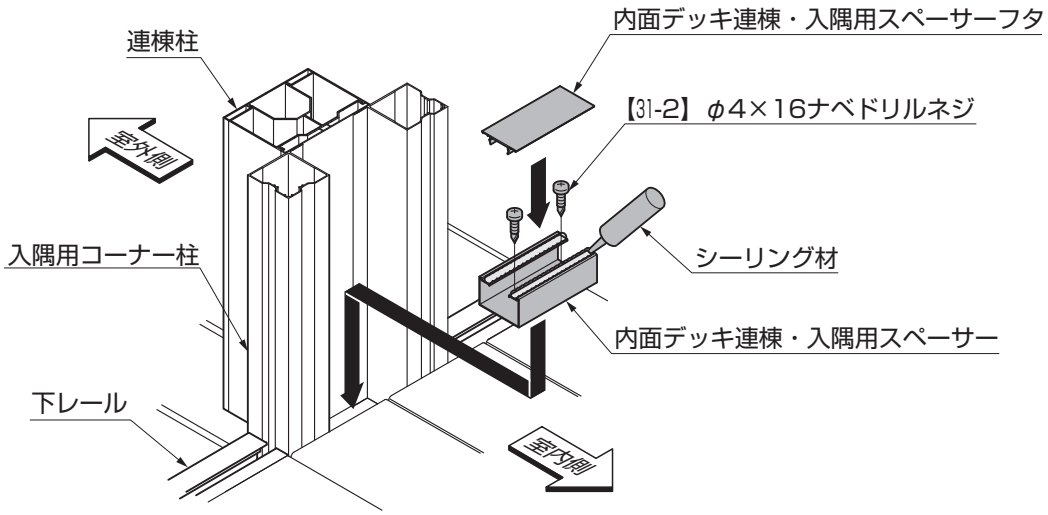


図1-17

①連棟部の入隅用コーナー柱間に内面デッキ連棟・入隅用スペーサーを【31-2】で取付けてください。
②内面デッキ連棟・入隅用スペーサーにシーリング材をつけ、内面デッキ連棟・入隅用スペーサーフタをはめ込んでください。

ポイント

●外面のデッキが土間の場合は【31-1】と【31-3】を使用してください。

メモ

2. 外面デッキの施工

2-1 根太の取付け

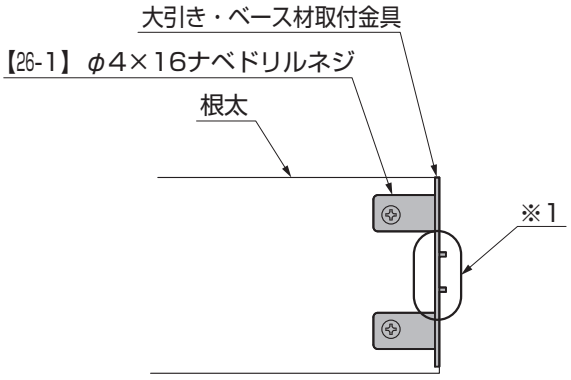


図2-1

①根太に大引・ベース材取付金具を【26-1】で取付けてください。

ポイント

●大引・ベース材取付金具は、金具の上面と根太の上面を合わせ、部品中央部のフィンの分（※1）だけが、根太端面から出っ張るように取付けてください。

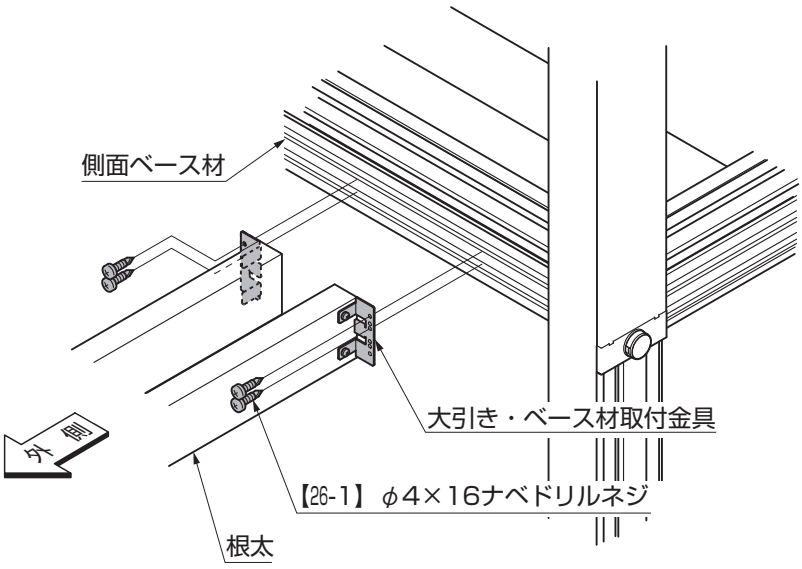


図2-2

②大引・ベース材取付金具を側面ベース材に【26-1】で取付けてください。

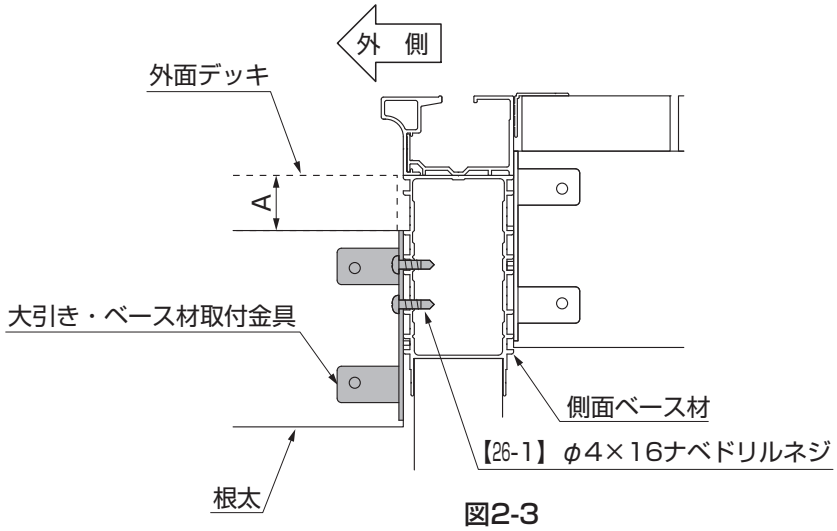


図2-3

表2-1 A寸法

	A
イペセレクト	25
ウエスタン・レッドシダー	36

2-2 外面デッキの張付け

（1）デッキ受け材、ジーマ前面見切り材、ベース材ス外ペーサーの取付け

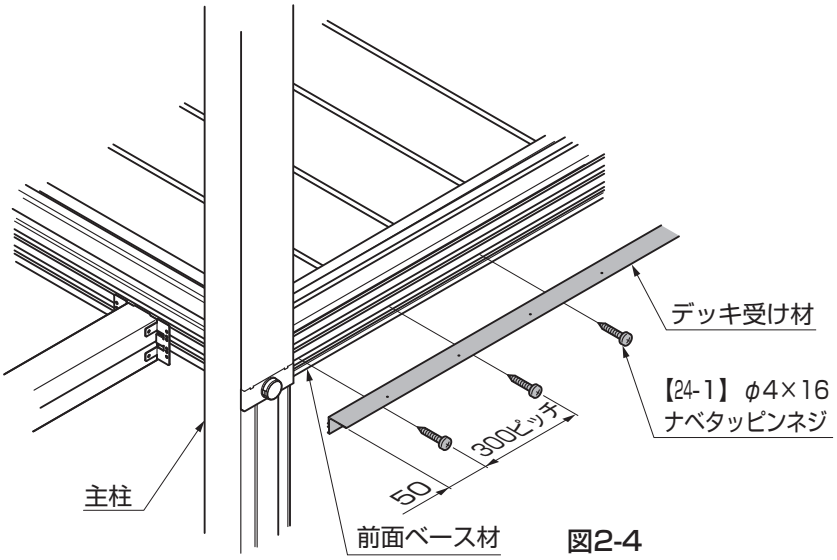


図2-4

①デッキ受け材を主柱間に納まるように切断してください。

②デッキ受け材を前面ベース材に【23-1】で取付けてください。

補足

●ウェスタン・レッドシダーとイペセレクトの場合はデッキ受け材の加工穴は使用しません。

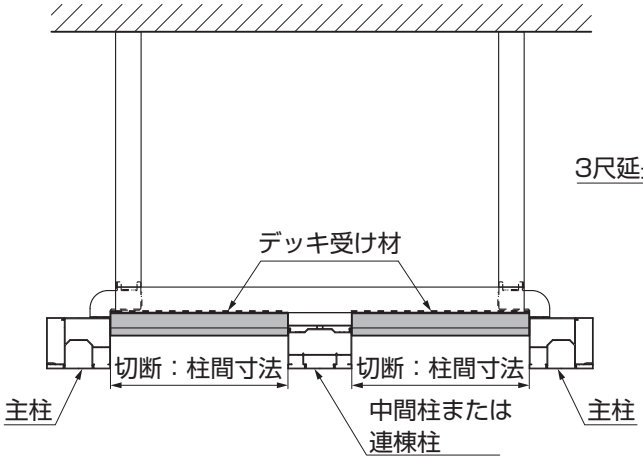


図2-5

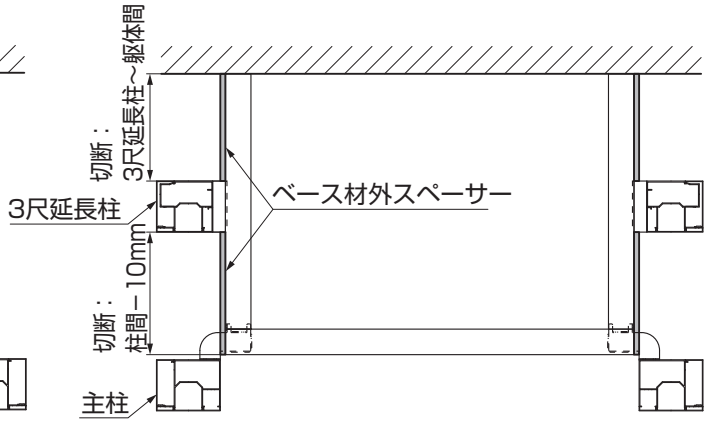


図2-6

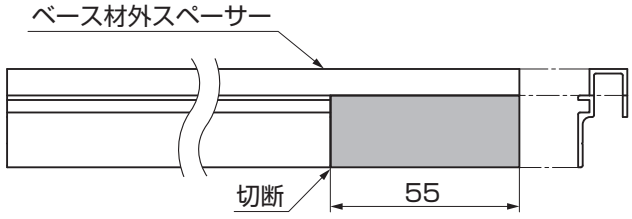


図2-7

ポイント

●中間柱、連棟柱仕様の場合は、デッキ受け材を柱間寸法にそれぞれ切断してください。
●連棟仕様のベース材連結部ではφ3.5の下穴加工をしてから取付けてください。

③ベース材外スペーサーの柱側端部を加工してください。（図2-7参照）
④3尺延長仕様の場合は、ベース材外スペーサーを柱間寸法－10mmと延長柱～躯体間寸法とにそれぞれ切断してください。

2.（つづき）

2-2 つづき

（1）つづき

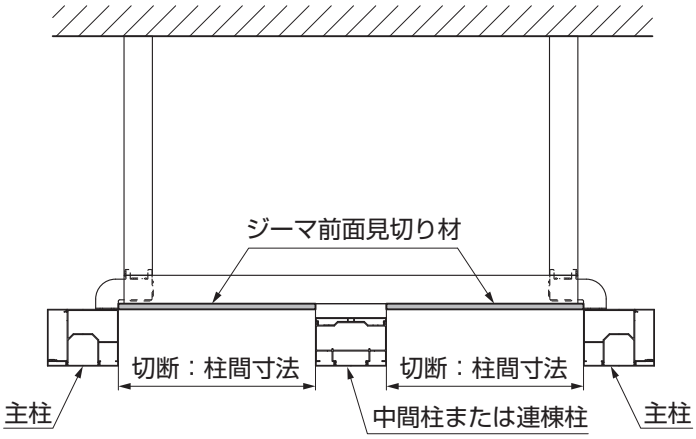


図2-8

⑤中間柱、連棟柱仕様の場合は、ジーマ前面見切り材を柱間寸法にそれぞれ切断してください。

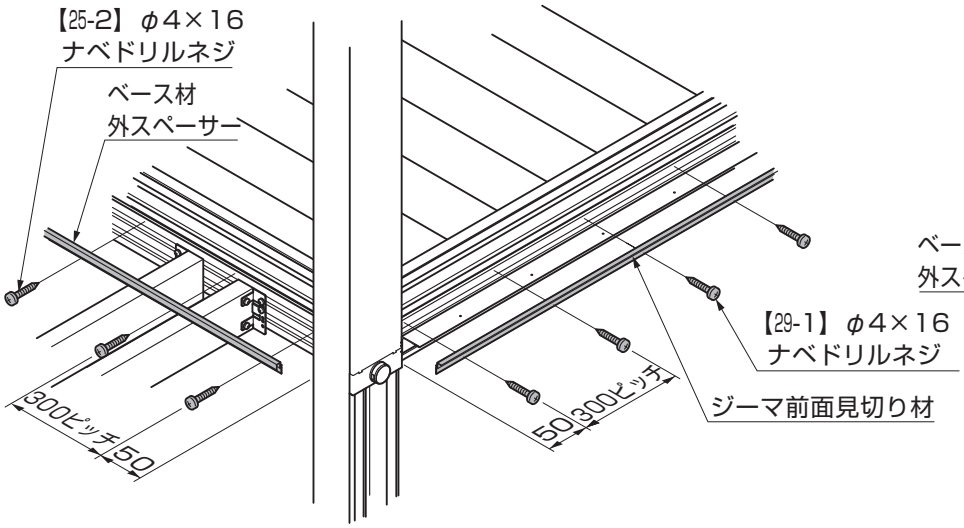


図2-9

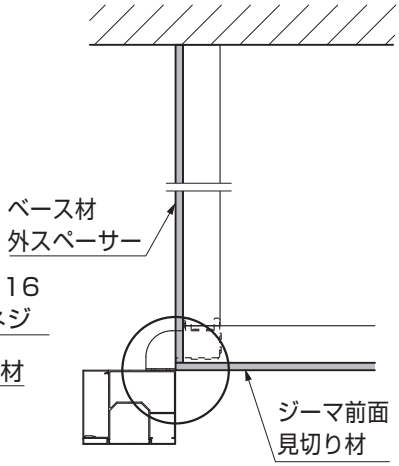


図2-10

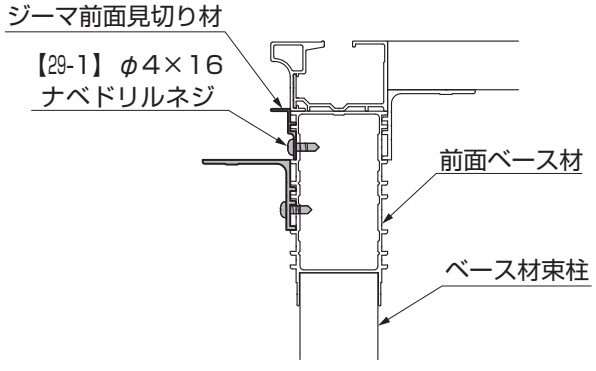


図2-11 側面断面図

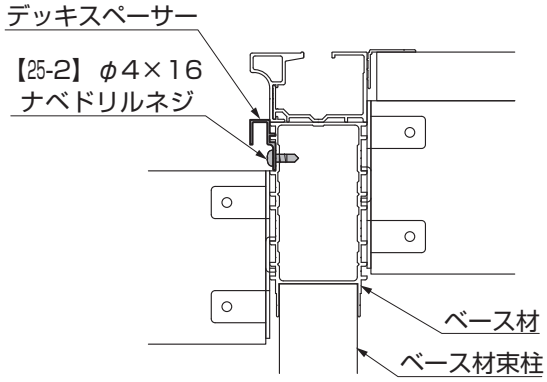


図2-12　正面断面図

⑥ジーマ前面見切り材を前面ベース材に【29-1】で取付けてください。
⑦ベース材外スペーサーを側面ベース材に【25-2】で取付けてください。

ポイント

●ジーマ前面見切り材とベース材外スペーサーは、ジーマ前面見切り材勝ちになるよう取付けてください。
（図2-10参照）

(2) デッキ納め柱部品の取付け

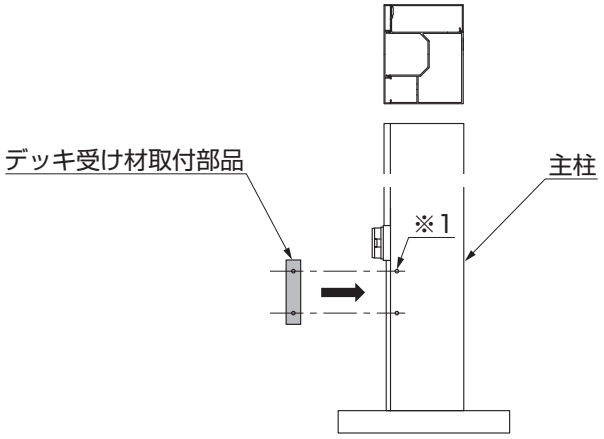


図2-13

①デッキ受け材取付部品を柱側面の穴に合わせて【27-1】、【28-1】で取付けてください。（図2-13参照）

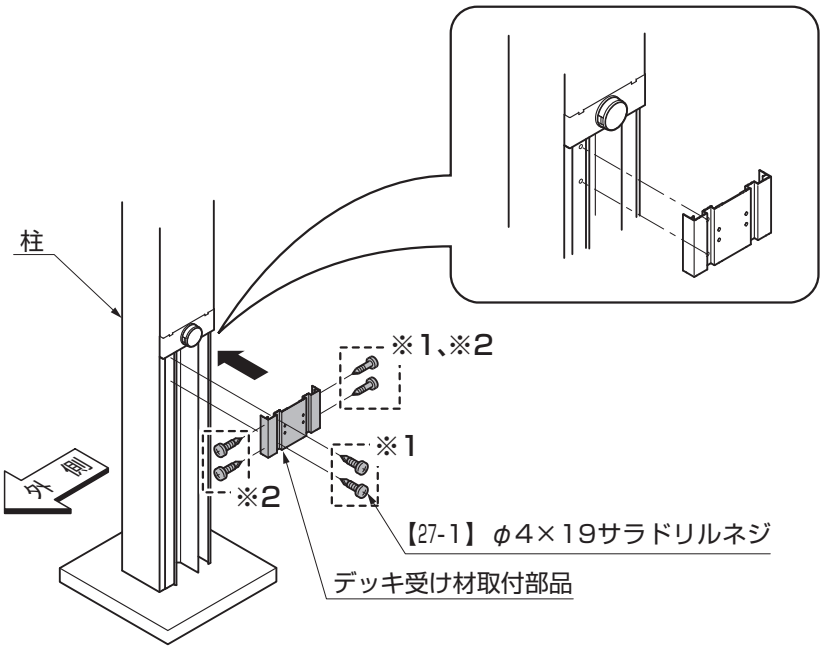


図2-14 主柱、中間柱、連棟柱の場合

ポイント

●主柱、中間柱、連棟柱はF.L.下内側の穴位置とデッキ受け材取付部品側面の穴位置（※1）を合わせてください。（図2-13参照）

●柱にデッキ受け材取付部品を取付ける際「主柱の場合」は※1の箇所に、「中間柱・連棟柱の場合」は※2の箇所に【27-1】で取付けてください。（図2-14参照）

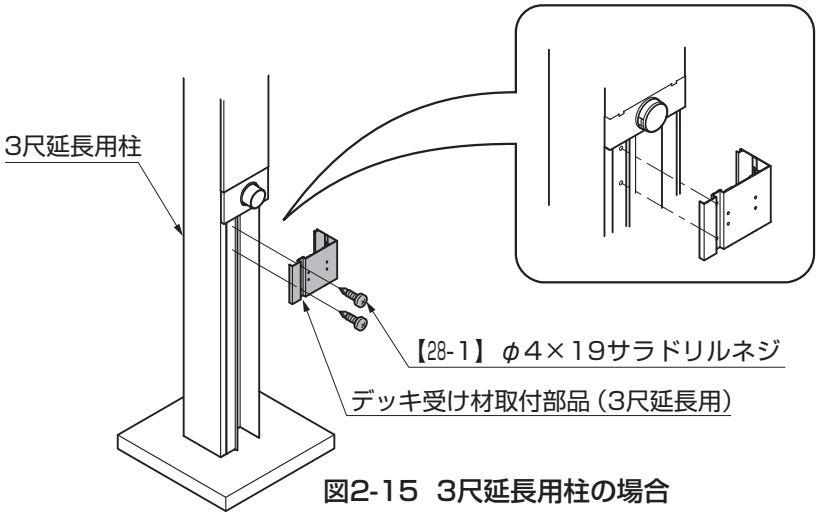


図2-15 3尺延長用柱の場合

ポイント

●3尺延長柱はF.L.下正面の穴位置とデッキ受け材取付部品（3尺延長用）正面のくぼみの穴位置を合わせてください。（図2-15参照）

2.（つづき）

2-2 つづき

(2) つづき

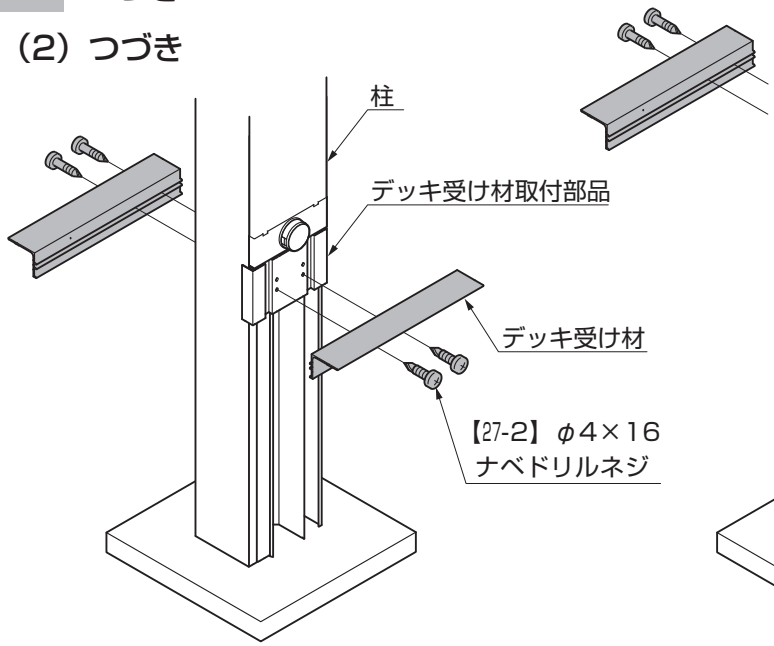


図2-16
主柱、入隅用主柱、中間柱、連棟柱の場合

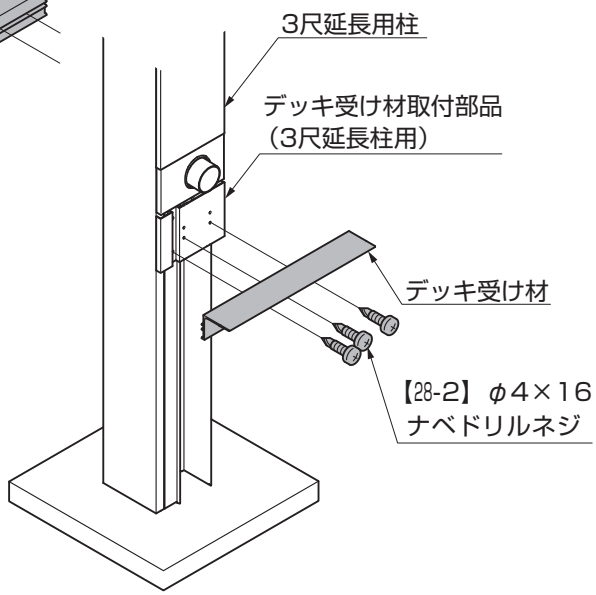


図2-17　3尺延長用柱の場合

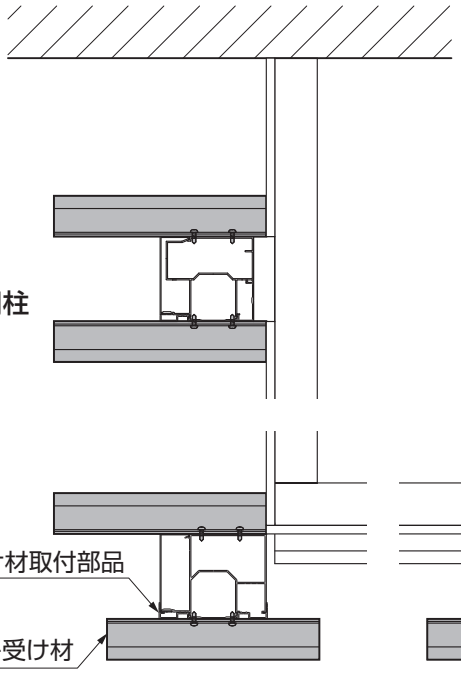


図2-18
3尺延長用柱

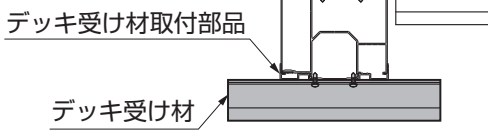


図2-19　主柱

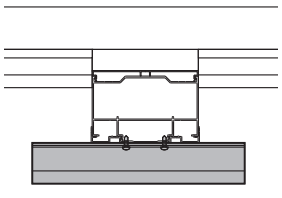


図2-20　中間柱、連棟柱

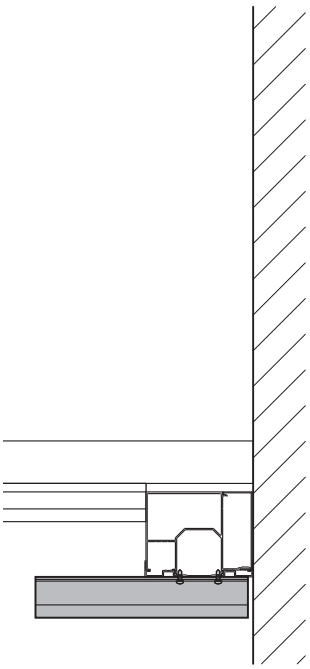


図2-21　入隅用主柱

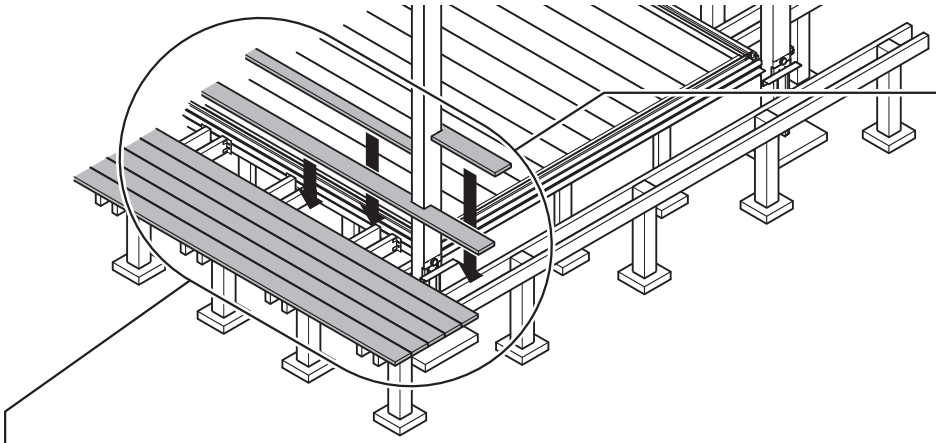
②デッキ受け材をデッキ受け材取付部品と柱に【27-2】、【28-2】で取付けてください。

ポイント

●柱背面に取付けるデッキ受け材は、デッキ受け材取付部品に取付けたデッキ受け材と高さを合わせて取付けてください。

メモページ

2-2 つづき



（3）デッキの加工

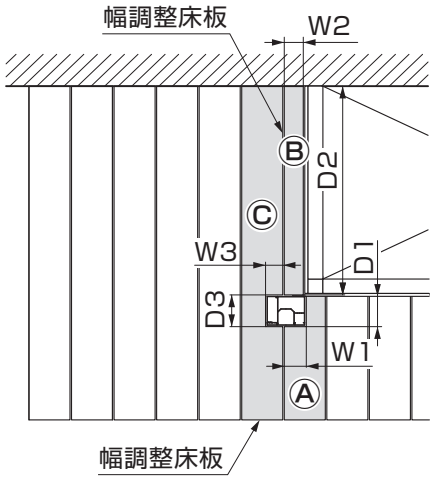
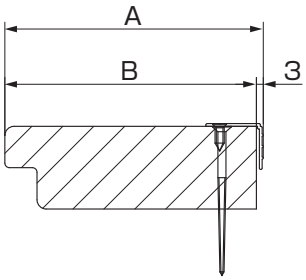


図2-22



A：見切り材を含む
　調整幅
B：床板縦切りW寸法

図2-23

表2-2　外面デッキ 幅調整床板加工寸法

	（左）幅調整床板寸法		（右）幅調整床板寸法	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
基本1.5間	100	97	100	97
基本2.0間	68	65	68	65
基本2.5間	106.5	103.5	106.5	103.5
基本3.0間	74.5	71.5	74.5	71.5
入隅1.5間	64	61	125	122
入隅2.0間	70	67	54	51
入隅2.5間	50	47	98	95
入隅3.0間	100	97	71	68

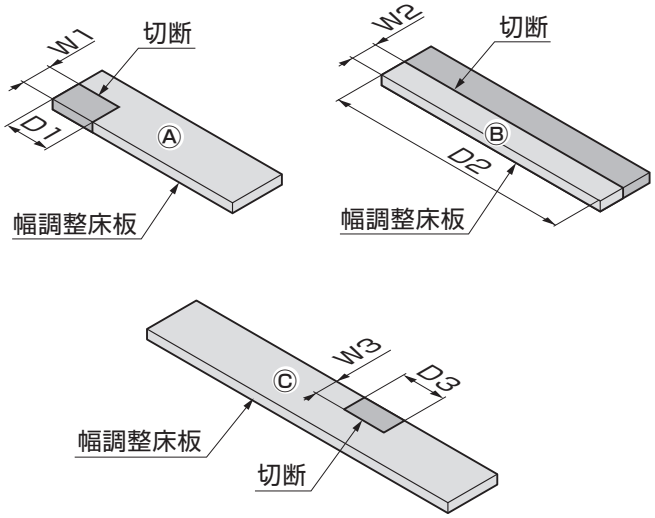


図2-24

①幅調整床板が柱、下レールに干渉する部分を図2-22、図2-24、表2-2を参照して加工してください。

ポイント

●幅調整床板および柱周りのデッキ材の加工寸法はあくまでも目安です。W1･W2･D1･D2の実際の寸法を計測して正確に加工してください。

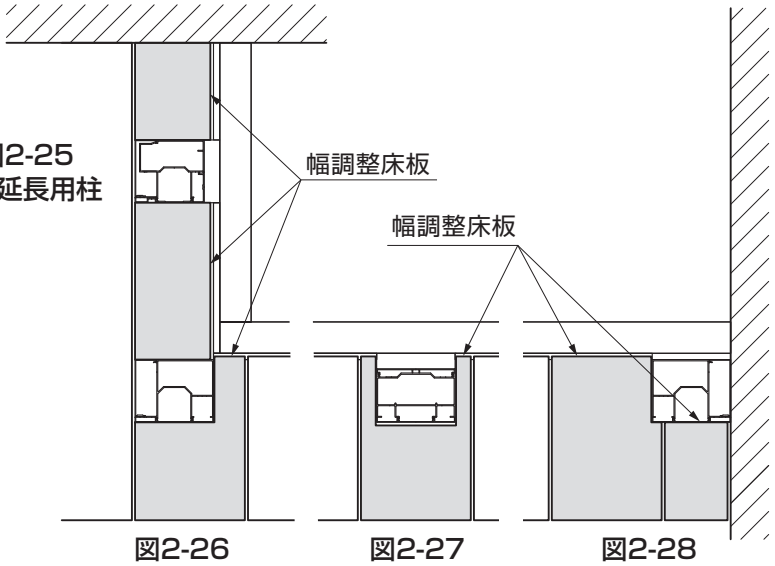


図2-25
3尺延長用柱

図2-26
主柱

図2-27
中間柱、連棟柱

図2-28
入隅用主柱

②主柱、3尺延長用柱、中間柱、連棟柱、入隅用端部柱は、図2-25、図2-26、図2-27、図2-28を参照して、柱に干渉するデッキを幅調整床板に加工してください。

ポイント

●加工寸法は現場で実際の寸法を計測して、正確に加工してください。

（4）外面デッキの張付け

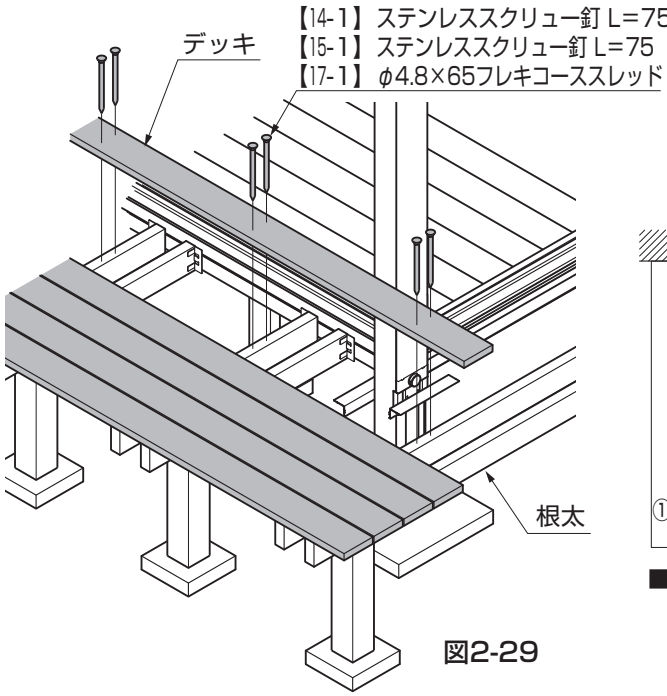


図2-29

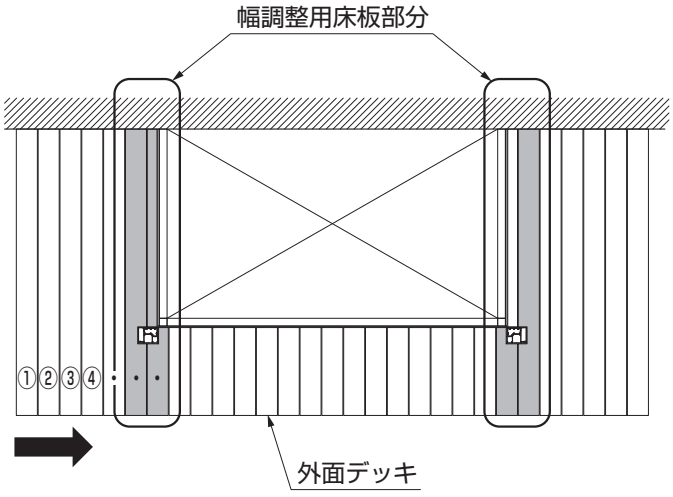


図2-30

①デッキを根太に【14-1】、【15-1】、【17-1】で取付けください。

ポイント

●デッキを配置する際は端部から配置してください。

2-2 つづき

(4) つづき

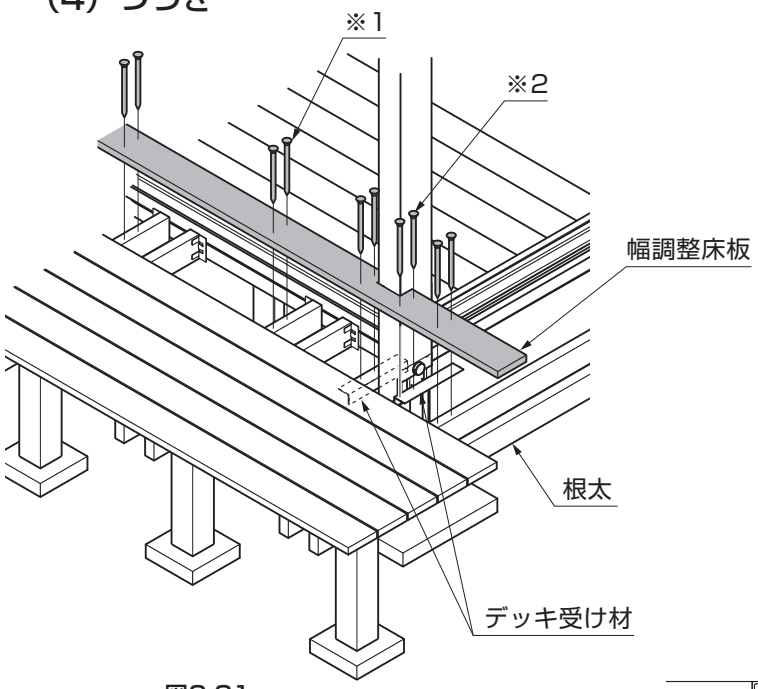


図2-31

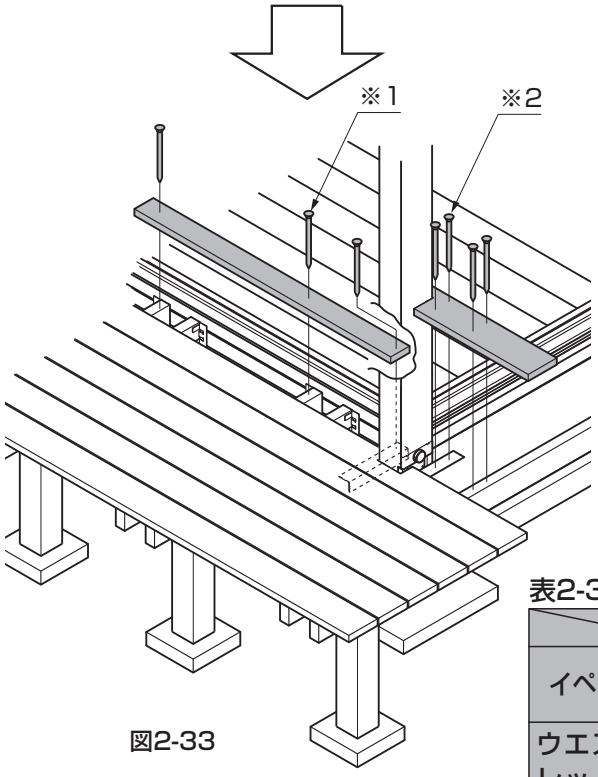


図2-33

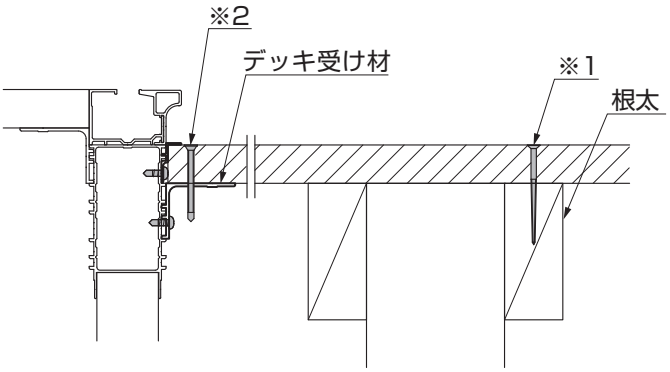


図2-32

表2-3　デッキ取付けネジ使い分け表

	固定個所：根太（※1）	固定個所：デッキ受け材（※2）
イペセレクト	【17-1】φ4.8×65 フレキコースレッド	【30-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ
ウエスタン・ レッドシダー	【14-1】、【15-1】 ステンレススクリュー釘L=75	【30-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ

②幅調整用床板をデッキ受け材、根太に取付けてください。

ポイント

●イペセレクトの場合は、デッキにφ6の下穴をあけて取付けてください。

2-3　見切り材の取付け

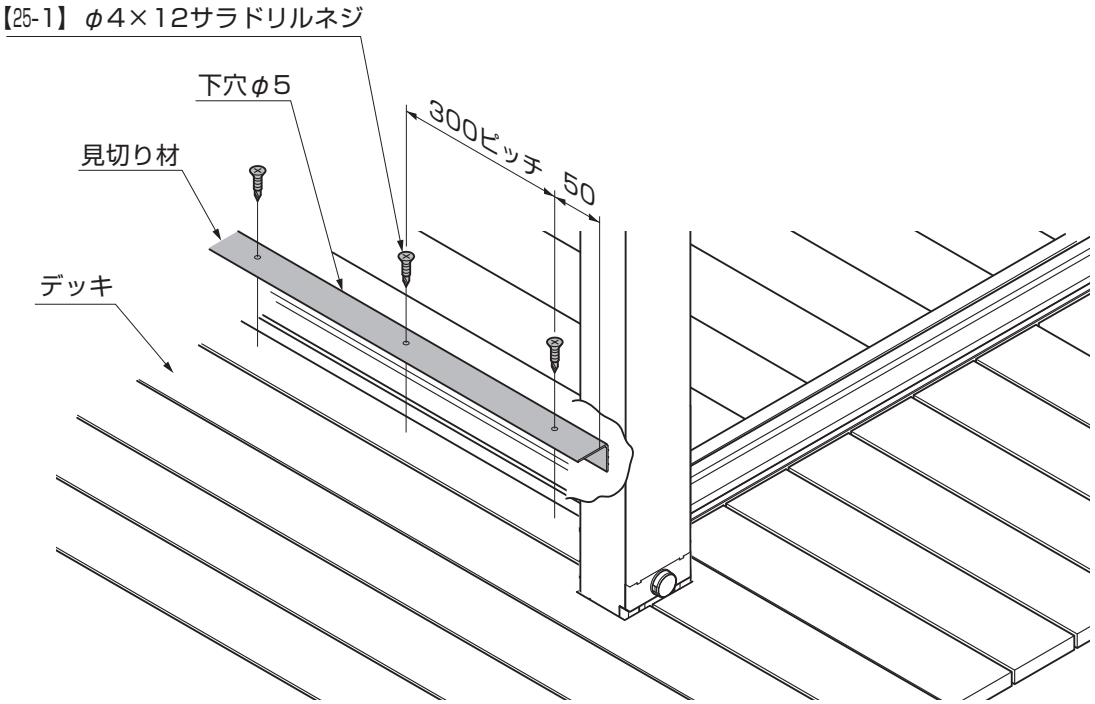


図2-34

①見切り材を外面デッキに固定する位置にφ5の下穴をあけてください。
②見切り材を外面デッキの端部に【25-1】で取付けてください。

ポイント

●見切り材を固定する位置に下穴加工をする際、幅調整床板を固定しているネジ位置を避けるよう、確認してから下穴加工をしてください。
●見切り材は、ベース材外スペーサーに押付けるように取付けてください。
●イペセレクトの場合は床板にφ3の下穴をあけてください。

メモ

3. 幕板の取付け

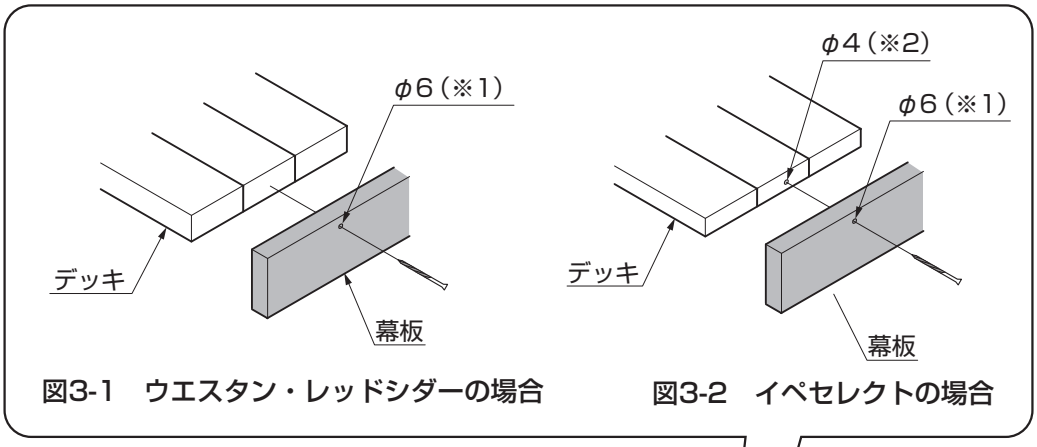
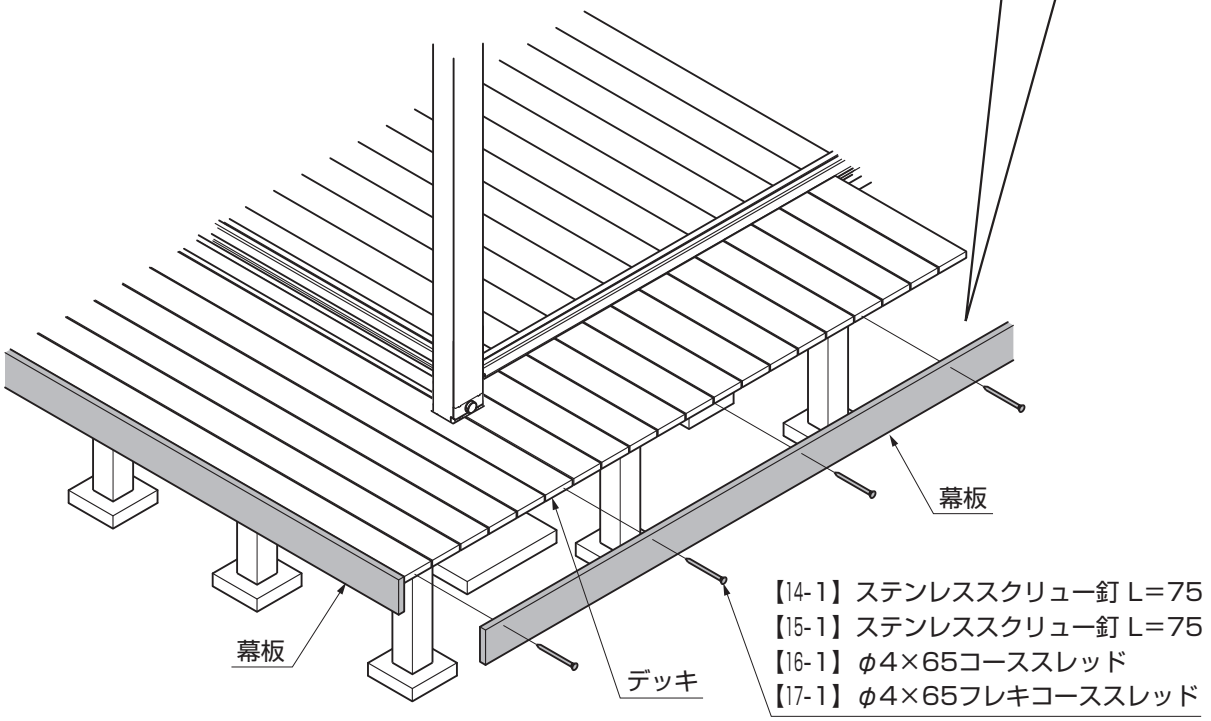


図3-1　ウエスタン・レッドシダーの場合　　図3-2　イペセレクトの場合



①幕板をデッキに【14-1】、【15-1】、【16-1】、【17-1】で取付けてください。

ポイント

●幕板に、φ6の下穴（※1）をあけてください。
●前面の幕板は、デッキのラインをそろえてから前面幕板を止めてください。
●イペセレクト材にイペセレクト用デッキネジを打ち込む場合は、φ4の下穴（※2）を開けてください。
●デッキ、幕板をよりきれいに仕上げる場合は、下穴に加え皿取りをしてください。

取説コード
E272

JZZ616591E
200807A_1039
201210F_1039